



# CSR 報告書

---

# 2008



## 編集方針

不二家は、2003年から毎年「環境報告書」を作成し、環境問題への取り組みや考え方をご報告してまいりました。そして、本年からは環境の側面からの報告だけでなく、より広く企業の社会的な側面における活動を報告することが企業が果たすべきCSR(企業の社会的責任)であるという考えのもと、「CSR報告書」としてまとめました。

本レポートは不二家のCSR活動を「品質」「マネジメント」「社会」「環境」の4項目にまとめ、それぞれ具体的にどのような取り組みを行っているかご報告いたします。

また、2007年1月に発生しました安全・安心に関する一連の問題以降、継続して取り組んでおります社外の方々との交流などの内容につきましても掲載しております。

## 報告対象範囲

本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

なお、環境報告部分の環境データにつきましては、ISO14001の規格に基づいて活動をしている製造6工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場、泉佐野工場)のデータを収集・記載しています。

### 製造6工場のISO14001認証取得年月と環境負荷データ集計対象範囲

		ISO14001 認証取得年月	環境負荷データ集計対象工場					
			2003年 (109期)	2004年 (110期)	2005年 (111期)	2006年 (112期)	2007年 (113期)	
菓子	秦野工場	2002年4月	2005年4月 統合認証	○	○	○	○	○
	平塚工場	2002年4月		○	○	○	○	○
	富士裾野工場	2001年4月		○	○	○	○	○
洋菓子	野木工場	2003年 4月		○	○	○	○	○
	埼玉工場	2004年10月		—	○	○	○	○
	泉佐野工場	2006年10月		—	—	—	○	○

## 報告対象期間

2007年4月～2008年3月 ※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

## 参考ガイドライン

本報告書は主に環境省の「環境報告ガイドライン(2007年度版)」並びに、GRI(Global Reporting Initiative)の「サステナビリティレポートガイドライン第3版」などを参考にしています。

## 発行年月

2008年7月

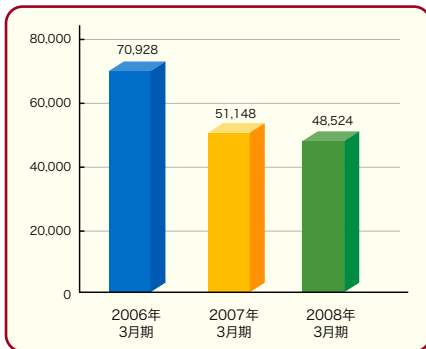
## Contents

編集方針	..... P 2	不二家の新しい取り組み	..... P 6
会社概要	..... P 3	不二家とステークホルダー	..... P 8
企業理念	..... P 4	CSR推進方針	..... P 9
トップメッセージ	..... P 5		
<b>■ 品質</b>			
●安全・安心のために	..... P12		
<b>■ マネジメント</b>			
●コーポレートガバナンスと内部統制	..... P18	●リスクマネジメント・セキュリティ	..... P21
●コンプライアンス	..... P19		
<b>■ 社会</b>			
●お客様とともに	..... P23	●不二家ファミリー文化研究所	..... P31
●株主・投資家の皆様とともに	..... P27	●外部からのご意見	..... P34
●従業員とともに	..... P28		
<b>■ 環境</b>			
●環境方針	..... P36	●環境保全活動	..... P42
●事業活動のマテリアルバランス	..... P37	●サイトレポート	..... P47
●環境マネジメント	..... P38		
不二家のあゆみ	..... P49		
編集後記	..... P52		

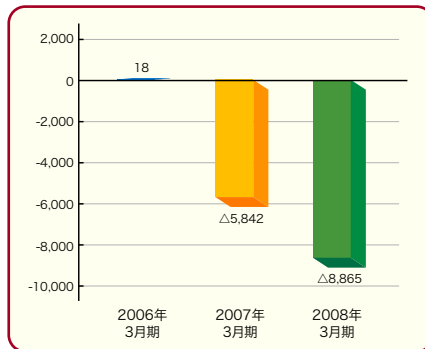
# 会社概要 (2008年3月31日現在)

<b>社名(商号)</b>	株式会社 不二家
<b>本店所在地</b>	〒112-0012 東京都文京区大塚2丁目15番6号 (2008年7月1日をもって上記住所に本店移転しました)
<b>代表者</b>	取締役会長 山田憲典 取締役社長 櫻井康文
<b>創業</b>	1910年(明治43年)11月
<b>設立年月日</b>	1938年(昭和13年)6月
<b>資本金</b>	14,345百万円
<b>従業員数</b>	正社員984名 (男性804名/女性180名)
<b>主要関係会社</b>	山崎製パン株式会社 株式会社不二家フードサービス 株式会社ダロワイヨジャパン 不二家乳業株式会社 株式会社不二家システムセンター B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社 日本食材株式会社 不二家サンヨー株式会社 株式会社甲信不二フード 株式会社ユトリア不二家 不二家(杭州)食品有限公司 不二家テクノ株式会社
<b>営業部・支店</b>	東京、大阪、愛知、福岡、仙台、札幌など全国の主要地
<b>店舗</b>	銀座、渋谷、横浜、名古屋、心斎橋、博多、札幌など
<b>工場</b>	秦野(神奈川県)、平塚(神奈川県)、富士裾野(静岡県)、野木(栃木県)、埼玉(埼玉県)、泉佐野(大阪府)、九州(佐賀県)、札幌(北海道)

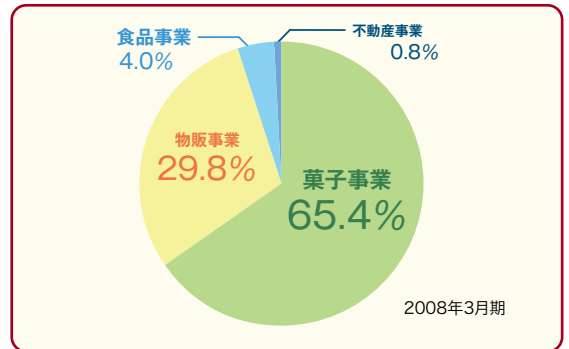
単体売上高 (単位：百万円)



単体経常利益 (単位：百万円)



単体事業別売上高構成比



## 事業内容

物販事業	菓子事業	食品事業
ケーキ、ペーカリー、デザート、アイスクリームなど洋菓子類の製造販売、喫茶店および飲食店の経営	チョコレート、キャンディ、焼菓子、菓子などの製造販売	飲料および乳製品など食品の製造販売

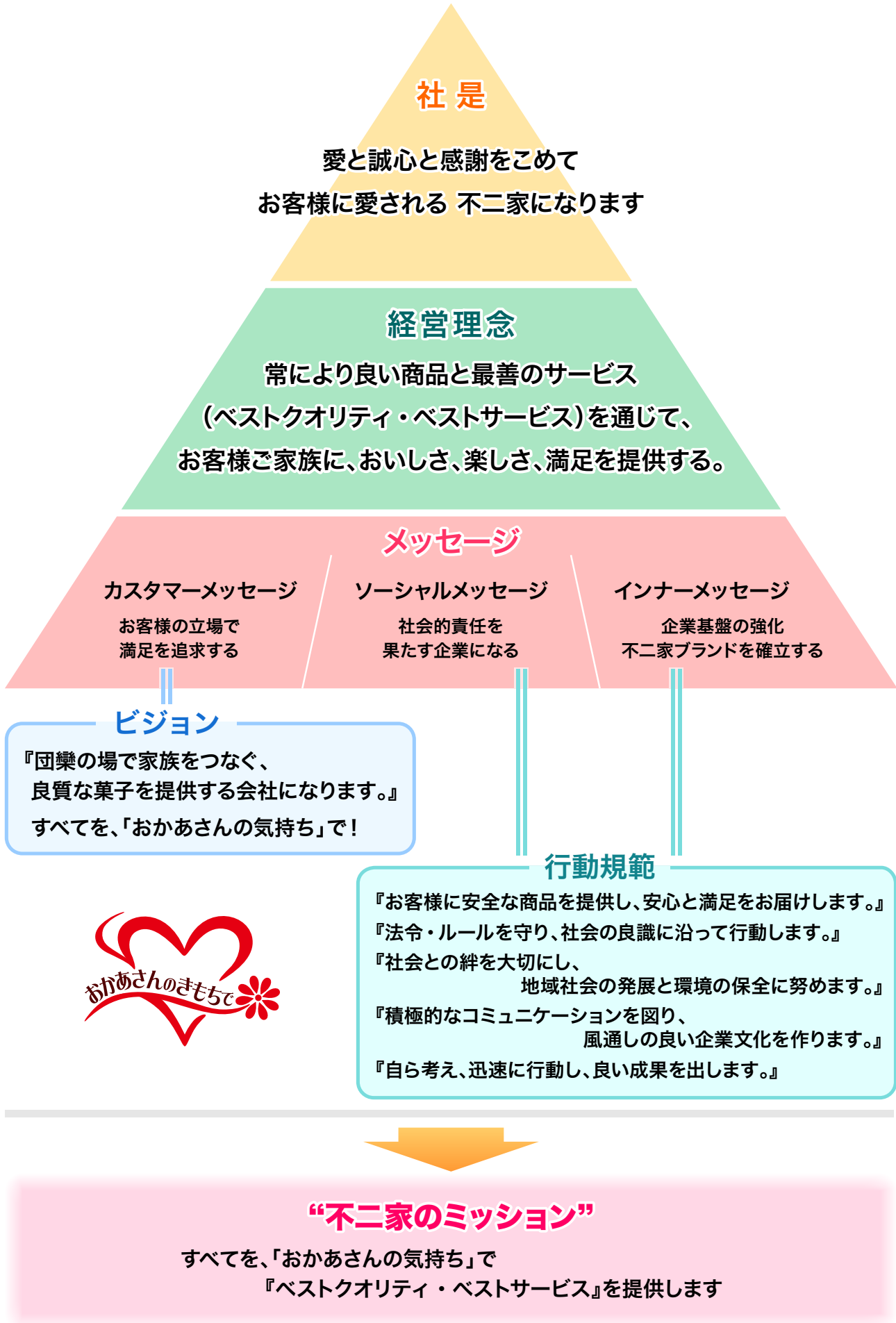
※各商品などの詳細は不二家ウェブサイト(以下「ホームページ」といいます)にてご覧いただけます。  
株式会社不二家 URL <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

### 不動産事業

業務内容：不動産の賃貸、管理など

# 企業理念

新生不二家の企業理念や、未来に向けたビジョン、ミッションをご紹介します。





# 愛と誠心と感謝をこめて、 お客様に愛される不二家になります。

私たち、不二家は、常に「家族」という視点を大切に考えて企業活動を行ってまいりました。

それはお菓子が子どもたちやおかあさんにとって、家族をつなぎ、幸せを運んでくれる大切なコミュニケーションツールであると考えてきたからです。

誕生日や七五三、クリスマスなど、家族で過ごす楽しい時間、毎日のおやつ。その笑顔の隣に、不二家のお菓子があること。それが私たちの喜びです。

不二家は、「すべてを「おかあさんの気持ち」で『ベストクオリティ・ベストサービス』を提供します」というミッションを掲げました。

家族の幸せな時間を過ごしていただく、そのための安心な商品とサービスを提供していくことが私たちの使命であり、その使命を果たすことが不二家の社会的責任(CSR)です。

また、商品・サービスの提供はもちろん、家族の健康で豊かな生活を支える自然環境を守り伝えていくことや、家族全員の生活基盤となる「食」についての知識を深め文化を伝えていくことも、CSRの重要な取り組みであると考えております。

不二家のCSR活動は、事業活動を通じて社会に貢献し、評価されることによって、社会と当社がともに発展することを目指しております。

本報告書を通じて、不二家のCSR活動への取り組み姿勢、活動内容をご理解いただきますとともに、今後の活動に向けて、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

代表取締役社長

櫻井康文



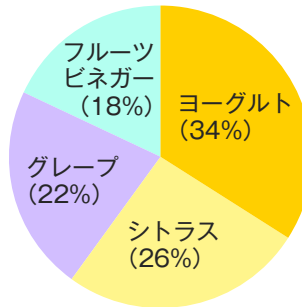
# 不二家の新しい取り組み

不二家は新しいコンセプトによる新商品の導入や、他社とのコラボレーション商品の開発、また、通販事業などに取り組んでいます。

**お客様の声を形にした商品**: お客様の視点に立ち、より満足度の高い商品作りを目指しています

## ルック(ヨーグルト ア・ラ・モード)

当社ホームページのルックブランドサイトで、初夏に食べてみたいア・ラ・モードを募集したところ、1位はヨーグルトでした。そのお客様の声をもとに、ルック(ヨーグルト ア・ラ・モード)を商品化しました。



お客様アンケート結果



ヨーグルトクリームと4種のフルーツソース

## ペコちゃんのほっぺ(イタリアマロン)

当社ホームページにて一般のお客様より「ペコちゃんのほっぺ」企画委員を募集。多数のご応募の中から5人の女性に商品企画ミーティングに参加していただきました。クリームとスポンジのバランス、パッケージデザインなど、熱心な意見交換のもと商品が誕生しました。



2007年11月から12月まで期間限定で発売しました。



**新コンセプト商品**: 健康志向、本物志向の商品開発に取り組んでいます

## KARADA LOVE SWEETS ~カラダにいい素材仕立て~

管理栄養士・大越郷子先生監修のヘルシースイーツ。カラダのことを大切に、素材にこだわって作ったスイーツは、カラダにもココロにもやさしい、若い女性をターゲットにした商品です。



黒糖のフルーツロール



トマトベリーとハチミツレモンジュレ



全粒粉のナチュラルシフォン(ブルーベリー)

## フランス最高職人(MOF\*) パティシエ J.M. オスモン氏監修商品



フランスを代表するパティシエ J.M. オスモン氏監修によりお菓子の本場フランスの伝統を感じさせる商品を発売しました。

※MOF (Meilleur Ouvrier de France) とはフランス最高職人の意味を持ち、各分野の優秀な職人に与えられる名誉ある称号です。



キャラメルサレ

コンフィチュール

### 「プティフランス」シリーズ

わずか4mmの薄板チョコレートに、とろりとしたソースの食感も楽しめるチョコレートです。

### アマンド・ショコラ

3種のクリームが楽しめる風味豊かなチョコレートケーキです。



※当ページに掲載している商品はすでに販売を終了している場合がございます。

# 不二家の新しい取り組み

**通信販売事業の充実**: 魅力的な商品を常にご提案し、さらなるペコちゃんファンの獲得を目指します

## Peko Poko Shop

通信販売限定のペコちゃんTシャツシリーズ、ペコちゃんTシャツ人形、ドッグ用品など、さまざまなカテゴリーで展開中です。



## ペコちゃんのエコショップ

「楽しい生活の中に少しずつやさしいエコを」ペコちゃんと一緒にエコを楽しみましょう。2008年4月より、「Peko」ならではの「eco」ショップを展開しています。

Peko SHOP



## ペコちゃんBOOK

不二家創業97周年を記念したペコちゃん初の写真集。全国の不二家店舗で数量限定で発売しました。お客様のご要望にお応えし、ネットショップでも発売中です。

ペコちゃん Book Store



**コラボレーション**: 今までの不二家にはなかった食シーンをご提供しています

## 新業態の開発

山崎製パン株式会社協力のもと、焼きたてパン、サンドウィッチとケーキが一緒に楽しめるお店ができました。お子様から大人まで、幅広い層に人気です。



Mom's cafe 船橋店(2007年11月6日OPEN) Mom's cafe 心斎橋店(2007年12月12日OPEN)

## キャラクターを使った新商品



スペシャルデー  
企画: 株式会社バンダイ

ペコキャラデコススペシャルデー  
(パーティ/ケーキ屋さん)

株式会社バンダイと共同開発のパーティ用ケーキです。ケーキの上にかわいいペコちゃんのミニフォトフレームがついています。



※写真はパーティです。

## 不二家ダブルストラップ

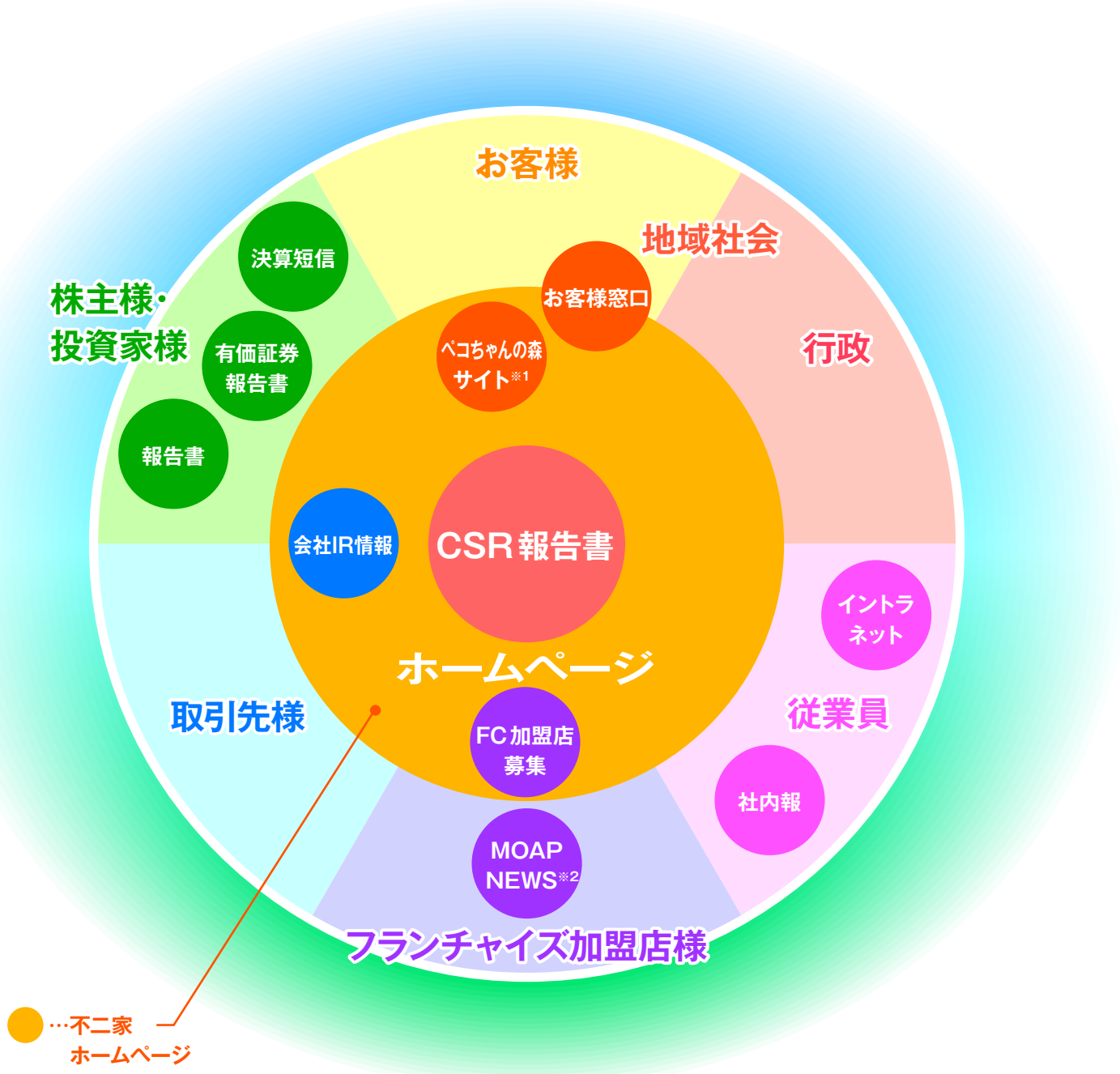
不二家のお菓子がストラップになり(全6種)、株式会社バンダイの自販機専用カプセル商品「ガシャポン®」として販売しました。



※当ページに掲載している商品はすでに販売を終了している場合もございます。

# 不二家とステークホルダー

不二家は企業活動を通じて関わる、社外・社内のさまざまなステークホルダーの皆様の期待に応え、信頼関係を構築するために、ホームページを中心とした各種ツールを活用し情報発信をしています。



※1 ペコちゃんの森サイト：不二家ファミリー文化研究所が運営するウェブサイト。詳細は、P31をご覧ください。

※2 MOAPNEWS：商品案内や販促計画のお知らせ。

## 不二家のステークホルダー

お客様・地域社会	常により良い商品と最善のサービス、お客様との双方向のコミュニケーション、また、さまざまなご要望・ご指摘への速やかな対応を通じて、お客様との信頼関係の構築に努めます。
行政	適時・適正に情報を開示し、良好な関係を維持します。
株主様・投資家様	積極的な情報開示を行い、企業価値向上に努め、株主様の期待に応えていきます。
取引先様	公正で透明な取引を行い、情報の共有化を図るなど、ともに企業の発展を目指します。
フランチャイズ加盟店様	パートナーとしての信頼関係のもと、共存共栄を継続します。
従業員	従業員ひとりひとりが能力を発揮できる労働環境を整備し、人材を大切にします。



# CSR推進方針

## 不二家のCSR

おかあさんが家族に向けるようなあたたかさ、やさしさを、商品やサービスにベストな形で反映させることで、お客様に喜んでいただくこと、そしてご家族との幸せな時間を過ごしていただくことが、私たちの使命と考えます。この使命を果たし、企業としての発展を目指しながら、同時に社会の健全な発展に貢献していきます。

不二家は、CSR活動を推進し、企業価値を高めていくために、「品質」「マネジメント」「社会」「環境」の4つの項目を掲げました。これら4つの項目に積極的に取り組むことにより、健全な経営を継続し、社会から信頼される良識ある企業として、責任を果たしていきます。

### 不二家のCSRを推進するための4つの項目



## CSR推進体制

不二家のCSR活動をサポートするために、「CSR推進部」を設置し、全社で4つの重点項目に取り組んでいます。CSR推進部には、従業員が高い倫理観を持ち、社会の要請に柔軟に対応できる風土を醸成するために、さまざまな研修や教育、意識啓発などを行う「コンプライアンス室」を新設し、迅速で公正・公平な情報開示を通じて経営の透明性を高め、社内外の適切な情報流通を行うための「広報室」、お客様とのふれあい(コミュニケーション)、および環境や食育への取り組みを行う「不二家ファミリー文化研究所」を配置しました。

## 不二家のCSRを推進するための4つの項目



### 品質

P11~

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全・安心な品質のうえでこそ成り立っていると考えます。

商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、CSR活動の最優先課題として取り組んでいます。



### マネジメント

P17~

従業員ひとりひとりが、高い倫理観に根ざした社会的良識を持ち、誠実に行動することが必要と考え、コンプライアンスの徹底を図っています。

また、内部統制システムの整備とリスクマネジメントの意識強化を図るなど法令・倫理規範を遵守した企業活動を行っています。



### 社会

P22~

社会に開かれた透明性の高い企業でありたいと考え、社外の方々からのご意見を積極的に取り入れながら、「企業市民としての社会貢献活動」「事業活動の情報開示」などを行っています。

また、従業員間のコミュニケーションを大切にし、活気のある健全な職場の維持に努めています。



### 環境

P35~

省資源、省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供できると考えています。

ISO14001活動の中で、従業員の環境意識向上にも取り組んでいます。





# 品質

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全・安心な品質のうえでこそ成り立っていると考えます。

商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、CSR活動の最優先課題として取り組んでいます。



## 安全・安心のために

- 品質管理体制 ..... 12
- AIB(American Institute of Baking) ..... 13
- ISO9001:2000 ..... 15
- 「不二家食品安全の日」について ..... 16



### ● 品質管理体制

不二家は常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全衛生管理体制の確立に努めています。

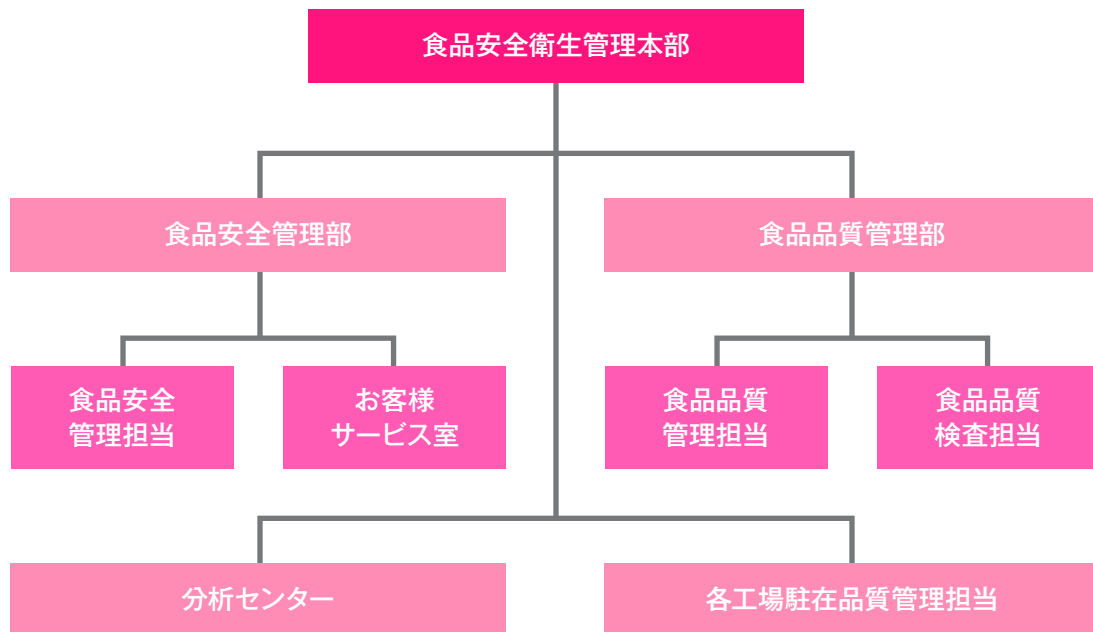
まず第一に科学的根拠に立脚したAIB、ISO9001といった食品管理システムの導入、第二にこのシステムを有効に機能させるための安全衛生管理組織の構築、第三にシステムを維持、運営、改善し、組織を活性化させる柱となる従業員教育を行っています。

### 食品安全衛生管理本部

食品安全、品質衛生に関わる業務と管理を向上させるため、2007年1月社長直轄組織として設置した「品質保証本部」を、2007年6月に「食品安全衛生管理本部」として改組し、新たに発足させました。

従来同様、社長直轄とし、AIB、ISO9001による食品衛生管理体制の確立を目指し「食品品質管理部」を設け「食品安全管理部」との二部門に再編成し、組織の強化を図りました。

また、従来は工場内の組織であった「品質管理担当」を食品安全衛生管理本部の直轄とし、業務の独立性を高め、チェック機能を強化するとともに、細菌検査体制などについても設備の見直し、人員増などを行っています。



従業員教育の様子



AIB 監査の様子





### ● AIB(American Institute of Baking)

不二家は、2007年1月より山崎製パン株式会社の協力のもと、食の安全性を向上させるため、AIB フードセーフティによる指導監査システムを全工場に導入しました。

#### AIB フードセーフティとは

安全な食品を製造するためにとらなければならない行為のガイドラインであるGMP\*(適正製造規範)を重視した食品安全管理システムです。このシステムは、アメリカでは50年以上の活動実績があり、諸外国ではこのシステムの有効性が認知され、食品工場のみならず、原料メーカー、流通倉庫や包装資材製造施設などの幅広い業種で活用されています。

このシステムはGMPを重点的に点検し、世界のさまざまな法規をもとにしたAIB 食品安全統合基準に則って検査は進められます。

※GMP(Good Manufacturing Practice):適正製造規範。従業員、設備、製造および工程管理などについて策定されている。AIB 統合基準はGMPを基礎にして作成されている。

#### AIB フードセーフティの考え方

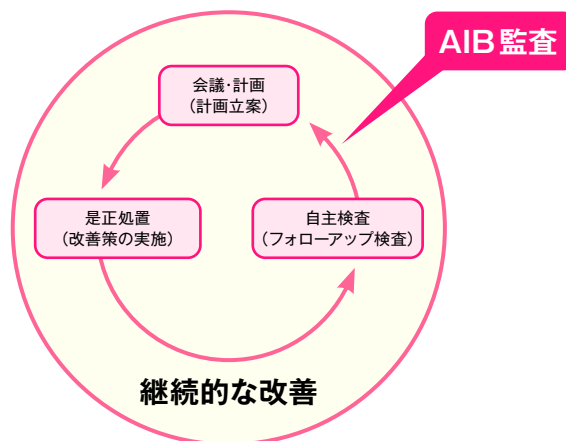
AIB フードセーフティでは、安全な食品を製造するために、原材料の受け入れから製品の出荷までのすべての状況を監査し、問題点を指摘し改善策を協議するなど「より具体的・実践的で有効な基準」とされ普及しています。

特に原材料の受け入れは重視しており、車輛の燻蒸消毒の有無・破損袋数・運搬機内の虫の数・運搬機の温度・製品温度などの監視と記録を行っています。

#### 食品安全管理サイクル

AIB フードセーフティでは、工場のメンバーがチームを組んでAIB 監査と同様な検査(内部監査)を毎月実施することを要求しています。この検査(内部監査)によって施設における食品への危害を発見し、改善計画を立て、是正処置を執り行い危害を排除するサイクルを繰り返すことで、食品安全レベルの維持・向上を図ることができます。

定期的に第三者機関の検査(AIB 監査)を取り入れることにより、自主検査や是正処置の方向性が適切であるか否かを確認でき、さらに強固な食品安全管理体制を構築することに役立ちます。





### 不二家の取り組み

2007年2月より洋菓子5工場、菓子3工場で、主要ラインを主体にAIB フードセーフティへの取り組みが始まりました。

このAIBフードセーフティでは、指導監査と本監査があります。指導監査では資格認定された外部のAIB監査員が、工場で清掃活動を中心とした活動内容を、清掃が行き届いているか、異物混入の危険性と有害生物の生息が見られないかなどの観点から監査し、不都合が見られた場合にはその都度改善方法を指導します。

本監査では、同様な観点から監査のみを行い、点数制による評価を行います。5つのカテゴリー(①プログラムの妥当性②有害生物防除③従業員規範④メンテナンス⑤清掃活動)で各200点を持ち点に減点方式による評価を行い、700点以上に合格が与えられます。

当社では監査対象とした工場、ラインはすべて合格しました。

導入後も、各工場とも工場スタッフを中心とした自主検査チーム「食品安全委員会」が、毎月1回内部監査を行い、適正に運営されているかどうかを確認しています。そこで工場の管理体制の見直しと徹底を進めています。

また外部のAIBスタッフによる監査指導も、1年に1~2回の実施を計画しており、継続することによって、より高度な食品安全衛生管理体制が構築されます。

今後も商品のおいしさを追及するとともに、お客様に安全で安心な品質の商品をお届けするよう、継続的な取り組みを行っていきます。

### 監査の方法

清掃活動においてはGMPに則った活動が適切に行われているかを、プロダクトゾーン(製造ラインの両サイド2mと天井までの範囲)においては、異物混入防止対策、有害生物防除対策の実施状況を中心に、監査は行われます。

監査は、現場80%、書類20%でほとんどが現場での活動状況の確認ですが、32項目の書類審査もあります。

また、清掃にはマスター クリーニング スケジュールと呼ぶ清掃頻度を自ら決めたスケジュール表と清掃手順書があり、それらに沿って清掃が行われているかの確認をしています。



山崎製パン株式会社による技術指導の様子(埼玉工場)



AIBフードセーフティ教育部門による  
監査の様子(埼玉工場)



### ● ISO9001:2000

#### これまでの取り組み

2005年よりJIS Q 9001:2000品質マネジメントシステムへの取り組みの活動を始め、2006年6月に外部審査機関による審査で、ISO9001:2000の認証を取得しました\*。しかしながら一連の問題の発生により2007年1月および4月の臨時審査の結果、認証登録の一時保留・一時停止処置を受けました。その後、お客様の信頼回復と品質保証体制の強化を目指して、組織体制の変更や品質マニュアルの抜本的な見直しを行ったうえでの活動の結果、2007年9月の審査で一時停止処置を解消、さらに2008年1月、2008年5月の審査においても認証登録を維持しました。今後とも食の安全とお客様満足の向上のため、継続的な改善を行ってまいります。

※ ISO9001適用範囲(2008年5月現在)

菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部  
[広域営業部、営業支店、食品品質検査担当、食品品質管理担当(工場駐在)、品質管理担当(洋菓子工場駐在)は除く]

#### ISO9001:2000における品質方針

品質マネジメントシステムの取り組みの基本方針である「品質方針」を2006年1月に制定し、認証取得活動への取り組みを開始しましたが、一連の問題への対応のもと、2007年3月に改訂を行いました。

**社 是** 愛と誠心と感謝をこめてお客様に愛される不二家になります

**経営理念** 常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する。

#### 〈品質方針〉

1. 当社はお客様に満足いただける環境に配慮した安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
2. そのために、各種関連の法律を守り、品質マネジメントシステムを通じて安心・安全な品質保証体制を整備し確立します。
3. 作業ルールの遵守はもとより、開発、製造各段階の流れと責任を明確にして、クレームの未然防止と再発防止に努めます。
4. 品質マネジメントシステムの有効性について継続的な改善を行います。
5. それらの実現のために、風通しのよい企業風土作りに基づいて相互のコミュニケーションを密にし、組織体制の整備および教育を実施してまいります。

品質方針の達成のため、各部門の品質目標を設定し、レビューするとともに、全体に周知徹底します。

2007年3月7日  
株式会社 不二家  
代表取締役社長 櫻井 康文

#### ISO9001:2000とは

ISO(国際標準化機構)によって発行された業種および形態、規模、提供する製品(サービス)に関わらず品質マネジメントシステムの継続的改善と効果的な運用、お客様重視や適用される法規制を守ることを通して、品質保証とお客様満足の向上を目指す国際規格のことです。



### ● 「不二家食品安全の日」について

2007年1月11日、不二家は洋菓子工場の消費期限切れ原料使用に関する第1回目の記者会見を開きました。それから一年間、不二家は「食の安全・安心」に取り組んできましたが、一連の問題を風化させず、食品の安全への決意を新たにするため、1月11日を「不二家食品安全の日」と決めました。

2008年1月11日の「不二家食品安全の日」に、不二家本社において決意集会を開き、櫻井康文社長は、もう一度食品の安全について真摯に考え、「志」新たに取り組むこと、不二家の存在意義を再確認すること、この2つが決意集会の意義であるとし、法令および社内ルールへの遵守、ミスの防止と起きた時の迅速で正確な対応について、再徹底するよう指示しました。また山田憲典会長も、毎月11日を「食品安全の日」と定め、気を引き締めて業務にあたるよう指示しました。

一連の問題発生当初から外部委員会のメンバーとして継続してお力をいただいていた「外部から不二家の発展を見守る会」濱田邦夫会長からは、「コンプライアンスにおいて、形式主義に陥らず、その目的をよく考えるように」とのお話をいただきました。

また、食品安全衛生管理本部長より「食品安全衛生決意表明」、埼玉工場（洋菓子工場）、平塚工場（菓子工場）の各製造課長より「誓いの宣言」を行いました。

不二家は、その後も毎月11日を「食品安全の日」とし、食品安全衛生管理本部を中心に全工場で原料・資材の確認や各種チェック表の確認など、適正に管理、運用されているかを社内第三者の目でチェックしています。同時に洋菓子店舗においても社員による店舗巡回を行い、品質管理、清掃状況、サービス状況などのチェックを行っています。



「不二家食品安全の日」決意集会の様子

### VOICE

「おかあさんの気持ちで」を具体的な形で仕事に反映している社員の声です。

子供を思う母親の気持ちが信頼として伝わり、「おかあさんの作ったものなら安心して何の疑問もなく食べる」。そのような安心を不二家を感じていただくことが「おかあさんの気持ちで」仕事をする事だと考えています。原料調達から始まり生産・販売までの各ステップに、安全の確保を確実なものにしていきたく思います。

食品安全衛生管理本部 食品安全管理部長

田代 弘行



「おかあさん」とは、慈愛の中に厳しさのある心の持ち主であると考えます。また「おかあさん」は小さな子供だけではなく、すべての年代、すべての人に存在します。

それゆえ子供だけではなく、あらゆる世代から愛される「不二家」でありたいと思っ仕事をしています。「おかあさん」イコールやさしさではないと思います。食べ物を提供している我々は、常に最高の品質と最高のサービスのため、厳しい姿勢であらゆることに挑戦し続ける組織体にしていきたいです。

埼玉工場長

荒野 保夫







# マネジメント

従業員ひとりひとりが、高い倫理観に根ざした社会的良識を持ち、誠実に行動することが必要と考え、コンプライアンスの徹底を図っています。

また、内部統制システムの整備とリスクマネジメントの意識強化を図るなど法令・倫理規範を遵守した企業活動を行っています。



## コーポレートガバナンスと内部統制

- 不二家のコーポレートガバナンスと内部統制 …… 18

## コンプライアンス

- 不二家のコンプライアンスの考え方 …… 19
- 2007年度のコンプライアンス活動 …… 20

## リスクマネジメント・セキュリティ

- 不二家のリスクマネジメント体制の整備 …… 21
- 情報セキュリティ対策 …… 21



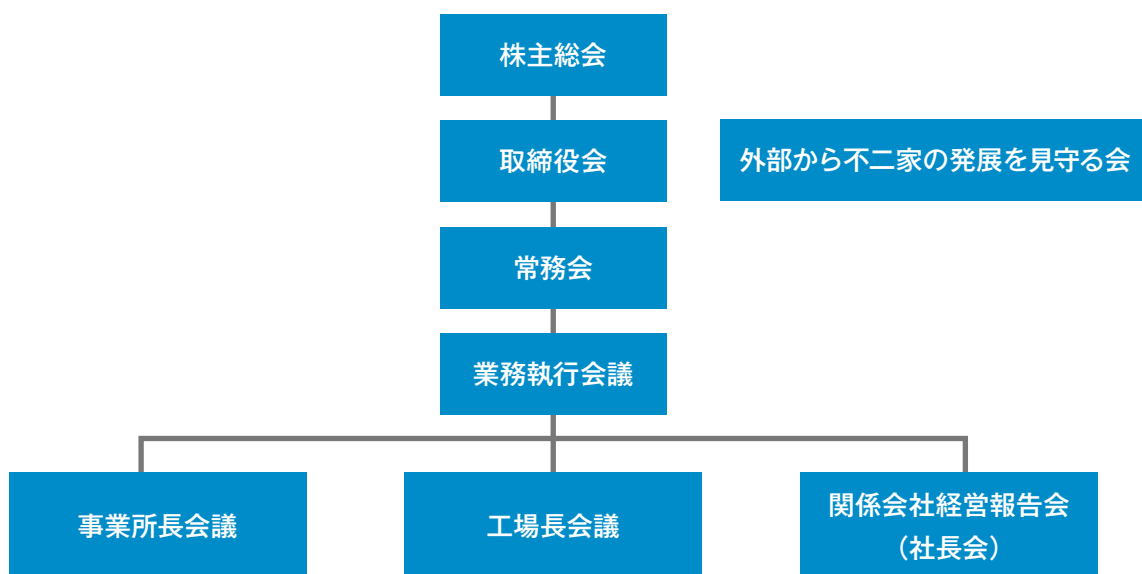
### ● 不二家のコーポレートガバナンスと内部統制

#### コーポレートガバナンス

経営の健全性・透明性を確保し、業務の適正さを堅持するために、取締役会・監査役制度を強化し、グループ全体のガバナンス体制の充実を図りました。

2007年の株主総会においては、代表取締役櫻井康文以外の取締役を一新し、山崎製パン株式会社からの新経営陣、さらに、新たな社外取締役を招聘し新体制による取締役会を発足させました。取締役会は経営の最高意思決定機関として位置づけ、主要取締役による常務会と、取締役に加え主要執行役員も出席する業務執行会議および取締役以下部長以上の幹部社員に關係会社の代表を加えた事業所長会議を新設し、ガバナンス強化とともに意思決定および業務執行の迅速化を図りました。

また、關係会社の経営と業務推進の方針決定に資するため、不二家本体の経営陣と關係会社社長との協議機関として、關係会社経営報告会(社長会)を設置し、關係会社への監督・支援をする抜本的改革をスタートさせています。



#### 外部から不二家の発展を見守る会

2007年1月22日に発足させた有識者による「『外部から不二家を変える』改革委員会」は2007年3月に当初の目的を遂げ終了しました。その後も、常に外部の眼を取り入れ、「変化を常とする」「社会の要請に敏感な」企業であり続けるために、2007年5月に「外部から不二家の発展を見守る会」を発足し、全5回の会合を開きました。この中で経営陣との意見交換をはじめ、厳しいご指摘をいただきました。

#### コーポレートガバナンスの充実に向けた整備状況

2007年8月より、財務報告にかかる内部統制システム構築のための専任部署を設置し、金融商品取引法の施行に伴い、内部統制報告制度の開始に備えるための取り組みを開始しました。10月には、内部統制全社委員会を頂点とする各種委員会を設置し、内部統制システム構築に全社レベルで取り組むための体制を整備しました。また一方で、全体行程表を作成し、社内各部署における業務洗い出し調査とリスク抽出を実施し、リスク低減のための仕組みを設けるなど対応を準備して、内部統制システム構築の主要部分を完了しました。2008年4月よりその運用を開始しています。



## ● 不二家のコンプライアンスの考え方

不二家は、コンプライアンスをCSR活動の重要な基本部分と捉えています。

不二家のコンプライアンスとは、「単なる法令遵守に留まらず、社内規定、社会倫理など決められたこと(自分たちで決めたこと)を守ること」であり、「社会からの要請に応えること」でもあります。不二家はコンプライアンスを徹底することにより、企業価値向上を目指しています。

不二家に対する社会からの要請は、安全はもとより安心にあります。不二家にとってお客様に安心をお届けすることは、信頼回復の最優先事項のひとつです。不二家の考える「安心」は、従業員が食品安全衛生への真摯な取り組み姿勢を持ち、食品事業に携わるものとしての責任を負うことに始まります。そして、その取り組みを社会に伝え続けていくことによって醸成されていくものであり、また企業に対する「安心」は企業の無形の財産であると考えています。

法令を守っていくことだけではなく、従業員ひとりひとりが、企業風土の改革を進めることなくしては、お客様からの信頼を取り戻すことはできません。

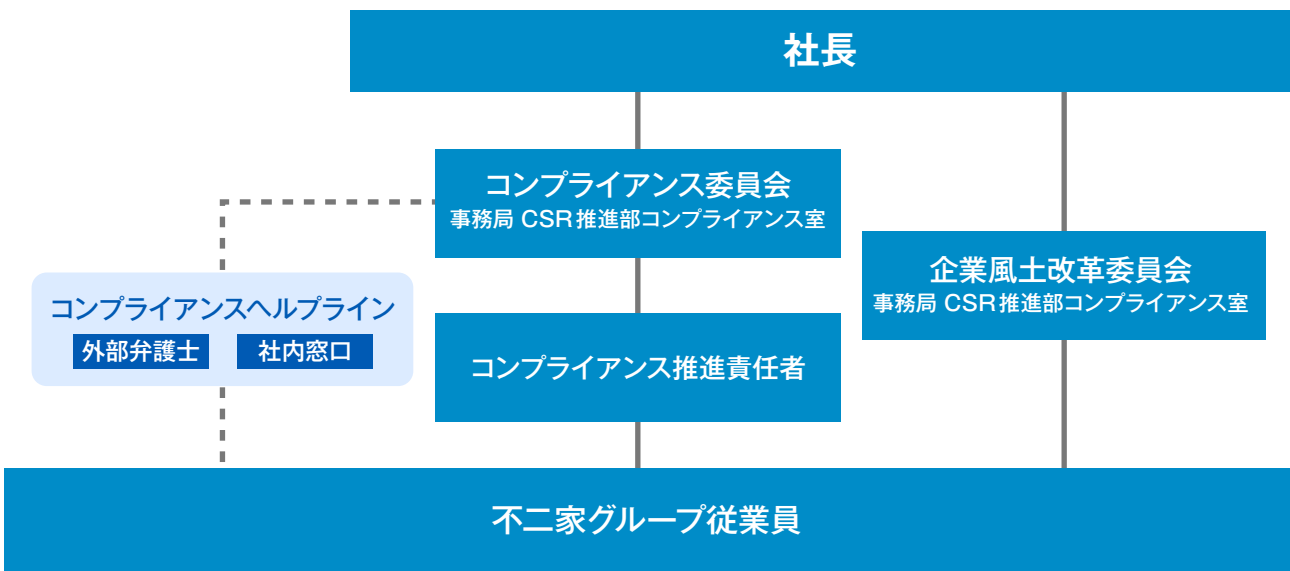
そこで、従来からあったコンプライアンス体制の見直しを行い、新たな体制のもと、取り組みを強化しています。

### コンプライアンス推進体制

コンプライアンスをグループ全体に徹底するため、コンプライアンス委員会を設置し、社会的な方針などの制定や啓蒙活動を実施しています。また、社内だけではなく外部弁護士を窓口としたコンプライアンスヘルプライン(内部通報)制度を導入し、諸問題に対する早期解決や再発防止を図っています。

一方、CSR推進部コンプライアンス室を事務局に、若手社員を中心とした「企業風土改革委員会」を設置し、従業員の意識改革を目的とした社内教育や勉強会を実施しています。

#### コンプライアンス推進体制図



### コンプライアンスヘルプライン(内部通報)制度

不二家は、不二家グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見・解決を目的とした、コンプライアンスヘルプライン(内部通報)制度を導入しています。この制度は、コンプライアンスに関する通報・相談窓口として機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員にコンプライアンスヘルプラインカードを配布するほか、社内だけではなく外部弁護士への連絡窓口を設けることで、コンプライアンスの浸透にも努めています。



全従業員が携帯している  
コンプライアンスヘルプラインカード



## ● 2007年度のコンプライアンス活動

### 企業風土改革

不二家は一連の問題発生を受け、企業風土の見直しが再発防止と今後の企業再生のために欠くべからざる重要な課題と位置づけて取り組んできました。

社内各部署の若手・中堅の人材を集め、コンプライアンスに関する勉強会を集中的に実施し、全社レベルで企業風土改革に取り組むための中核戦力を養成しました。そして、この勉強会メンバーの協力を得て、全従業員への勉強会を開始しました。

この勉強会では、少人数単位でのグループワークを行い、それぞれの職場において日頃感じている問題点について話し合い、現場のリスク(問題点)抽出を行いました。その結果、まず現場で改善すべき身近な問題(毎日の業務に関わる問題)が明らかになるとともに、その対処行動自体がまさしく企業風土改革に結びつくものであることがわかり、各事業所でその改善に取り組んでいます。

また、個々で抽出されたリスクをもとに、今の不二家にとって必要とされるルールを明確にするために、新しい行動規範を作成し、さらにその徹底のため全従業員への教育に取り組んでいます。

### 2007年コンプライアンス勉強会の実績

不二家は2007年1月以降、従業員の意識改革を行うことが企業風土改革につながるの考えのもと、各種勉強会を全従業員(正社員・パート・アルバイトなど臨時従業員)を対象に継続的に実施しています。第4次の勉強会の合計では実施回数が75回、受講人数は2,578人となりました。

#### 実施された勉強会

期間	実施内容	対象
第1次 (2007年1月～2月)	一連の問題を受け、法令遵守・ルールの徹底などを再確認するための教育を実施(食品衛生教育、行動規範・各種マニュアルの読み合せなど)	全事業所で実施
第2次 (2007年2月)	コンプライアンスについての理解を深めるために、元不二家信頼回復対策会議議長郷原信郎氏によるコンプライアンス講習会を実施	本社で実施 各事業所ではVTRで視聴
第3次 (2007年4月～5月)	従業員に対する勉強会を実施するために新日本監査法人CSR推進部長大久保和孝氏による社内選抜者コンプライアンス研修会を実施	①企業風土改革委員会メンバー ②洋菓子事業本部を中心とした 主要管理職メンバー
第4次 (2007年4月～11月)	従業員の意識改革と問題抽出のためのコンプライアンス勉強会を実施 ・コンプライアンス講義 ・問題抽出のためのグループワーク	全事業所・全従業員(パート・アルバイト含)・関連会社
第5次 (2008年3月～)	「新行動規範」の周知徹底を目的とした勉強会を実施	全事業所・全従業員(パート・アルバイト含)・関連会社

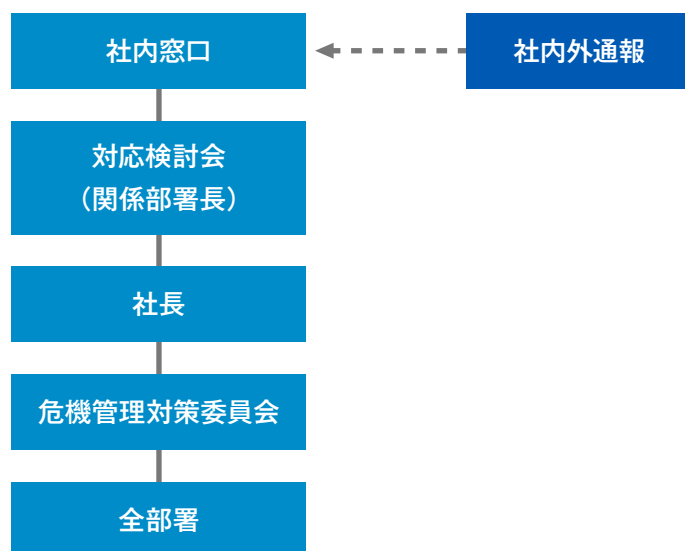




### ● 不二家のリスクマネジメント体制の整備

不二家は、事業活動に重大な影響をおよぼす恐れのある「経営リスク」「事故・災害(環境)リスク」「品質リスク」などのあらゆるリスクに対しての最適な対応策を講ずるとともに、リスク発生時において、被害を最小限に留めるべく、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。

リスクについては、それぞれの担当部署において事前にリスク分析、対応策を検討し、内部統制上管理しています。必要に応じて顧問弁護士などの専門家に、助言・指導を求めています。重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化し、または、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める危機管理対策委員会を召集し、迅速な対応を図ります。



### ● 情報セキュリティ対策

組織改正に伴い、緊急連絡網の改訂を行うなど、緊急事態発生時の経営トップからの迅速かつ確実な情報連絡網を整備しました。

お預かりしている個人情報を適切に利用し、保護することが当社の社会的責任であると考え、「個人情報保護方針」に基づき適切な安全対策のもと取り扱っています。

今後も個人情報の取り扱いや従業員の安全確保など、新たに想定されるリスクを盛り込んだ幅広いリスクマネジメント体制の構築に注力していきます。



# 社会

社会に開かれた透明性の高い企業でありたいと考え、社外の方々からのご意見を積極的に取り入れながら、「企業市民としての社会貢献活動」「事業活動の情報開示」などを行っています。

また、従業員間のコミュニケーションを大切にし、活気のある健全な職場の維持に努めています。



## お客様とともに

- お客様への情報発信 ..... 23
- お客様からいただいた声 ..... 23
- お客様からのお問い合わせ例 ..... 24
- お菓子を通じてのコミュニケーション活動 ..... 25
- 地域コミュニケーション活動 ..... 25
- 工場見学を通じて ..... 26

## 株主・投資家の皆様とともに

- 情報開示とコミュニケーション ..... 27

## 従業員とともに

- 働きがいのある職場作り ..... 28
- 安全で働きやすい職場作り ..... 30

## 不二家ファミリー文化研究所

- 不二家ファミリー文化研究所とは ..... 31
- イベント活動 ..... 32
- トラスト活動 ..... 33

## 外部からのご意見

- 外部から不二家の発展を見守る会からのご意見を受けて ..... 34
- 消費者団体との交流 ..... 34
- 食に関するオピニオンリーダーとの交流 ..... 34



### ● お客様への情報発信

不二家はお客様が必要としている情報を積極的に発信していくために、2007年6月にホームページのリニューアルを行いました。「不二家の取り組み」など、お客様に安全・安心な商品をお届けするための取り組みをわかりやすくお伝えするためのサイトの充実や、「お客様窓口」のページではお客様から数多く寄せられる質問を回答とともに掲載しています。

さらには、ペコちゃんにまつわる情報を充実させた「ペコワールド」の新設など、お子様から大人までが楽しめるコンテンツの充実に努めています。



### ● お客様からいただいた声

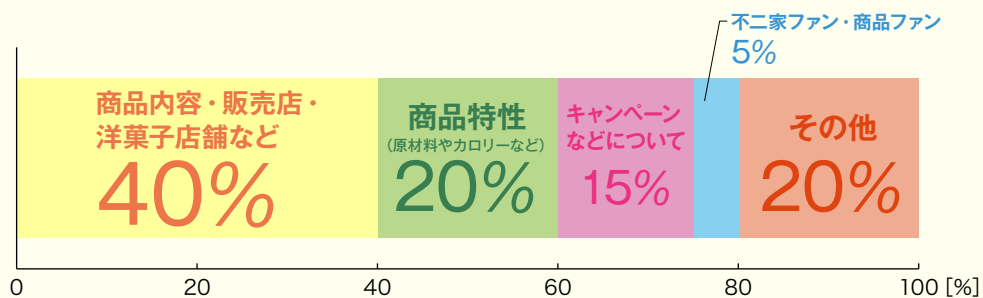
2007年度はお客様から約24,000件ものお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は約16,500件のお問い合わせ・ご意見があり、また約7,500件のご指摘事項でした。お問い合わせ・ご意見のうち、約20%が商品の原材料やカロリー、アレルギーなどについてであり、また約40%が商品内容や販売店、洋菓子店舗の営業についてのお問い合わせに関するものでした。

お客様からのお問い合わせの多い商品特性(カロリー・アレルギー情報)については、当社ホームページの商品情報で公開しています(洋菓子事業部商品の一部を除く)。また、洋菓子店舗では商品のプライスカードにアレルギー情報(主要5品目)を載せています。

今後はカロリー情報などについても全商品に対応できるよう整備していく予定です。

そのほか、フランチャイズオーナーの募集などについてのお問い合わせも数多くいただいております。当社ホームページ上では専用の「お問い合わせフォーム」を設置しています。

#### お問い合わせ内訳





### ● お客様からのお問い合わせ例

お客様サービス室にいただいたお問い合わせの中で、お問い合わせ件数の多いものなど一部について、ホームページ上でご報告しています。

**Q.**「アンパンマンひとくちビスケット」に「はちみつ」が入っているが、子どもに食べさせても平気ですか？

**A.** 生のはちみつは菌（ボツリヌス菌など）を含むことがあり、1歳未満など、まだ抵抗力の弱い小さなお子様は召し上がらない方が良いとされています。

「アンパンマンひとくちビスケット」には、菌を除去したはちみつを使用していますので、ビスケットを食べることができる月齢のお子様でしたらお召し上がりいただいて大丈夫です。

ただし、はちみつアレルギーをお持ちの方はお召し上がりにならないでください。

**Q.**「ショートケーキ」の名前の由来は何ですか？

**A.** short cake(英) スポンジケーキをソースなどと組み合わせたケーキや、ビスケットなどの総称で、語源としてはお菓子の原料であるショートニング(油脂)に由来し、サクサクした、くずれやすいが本来の意味です。

ただし、現在日本で「ショートケーキ」と呼ばれているケーキは同じものは海外にはなく、大正時代に不二家がやわらかいスポンジにクリームなどを組み合わせ独自に考案したものが日本に広まった、いわば日本生まれの洋菓子と言えます。

## TOPICS

### 「サービス介助士」資格取得について

不二家は現在17名がサービス介助士2級を取得しています。資格取得者は、すべてのお客様がより安心してお買い物ができるよう、不二家洋菓子店(直営)を中心に活躍しています。



車いす介助の研修



高齢者疑似体験研修





### ● お菓子を通じてのコミュニケーション活動

#### ペコちゃんのお菓子のおうちデザインコンテスト

不二家は2006年に実施した「夢のショートケーキコンテスト」に続き、2007年には「ペコちゃんのお菓子のおうちデザインコンテスト」を実施しました(募集期間:2007年11月16日~2008年1月9日)。

応募総数4,116作品の中から見事優秀賞に選ばれた3作品のデザインをもとに、不二家のシェフが世界でただ一つのお菓子のおうちを制作し、贈呈式を行いました。



ペコちゃんのお菓子のおうちデザインコンテスト贈呈式(2008年3月)



不二家のシェフ挨拶

### ● 地域コミュニケーション活動

#### 元町ハロウィン

「元町ハロウィン2007」は、横浜元町ショッピングストリートのお店のスタッフがいろいろな扮装でお子様にお菓子を配る、手作り感のある親しみやすいイベントです。

不二家にとって横浜元町は、1910年(明治43年)に最初に洋菓子店を開いた「発祥の地」です。

2007年はお菓子などの協賛だけではなく、ペコちゃんとポコちゃんもオリジナル衣装で参加し、地域のお客様との交流を深めました。



元町ハロウィン(2007年10月)



大人気のペコちゃん、ポコちゃん

#### はだの丹沢水無川<sup>みなせ</sup>マラソン

市制50周年を記念して一昨年から開催されている「はだの丹沢水無川(みなせ)マラソン」が2007年12月2日に開催されました。

不二家秦野工場では、参加した市民ランナーに参加賞(お菓子詰め合せ)を配るなど、地元企業として第1回開催時から協賛し、大会をバックアップしています。



はだの丹沢水無川マラソン(2007年12月)



参加した不二家スタッフ



### ● 工場見学を通じて

不二家は工場見学を通じて、お客様に安全なお菓子を生産するための取り組みをご紹介します。

また、見学の際に親子で実際にケーキ作りを体験していただくなど、お菓子作りを通して親子で「食」についての興味や関心を高めていただくための取り組みを実施しました。

このような洋菓子工場の見学を通じて、より多くのお客様に不二家の安全・安心への取り組みを理解していただくとともに、参加された皆様に親子で一緒に食べるケーキのおいしさ、ケーキを作る楽しさを体験していただき、家族の大切な思い出作りのお手伝いをしています。



不二家埼玉工場



チョコ生ケーキのライン見学

### 不二家埼玉工場夏休み親子見学

2007年8月29日、不二家埼玉工場(埼玉県新座市)では一般のお客様との交流の一環として、夏休み親子工場見学が実施されました。

新たな食品安全のための監査システム(AIB)を導入した、安全で衛生的な工場内の一部をご見学していただき、実際にショートケーキ作りも体験していただきました。

### VOICE

#### 参加されたご家族の感想

「機械で大量生産とばかり思っていたが、ほとんど手作りの製品もあって驚いた」

「見学時にわざわざベルトコンベアをゆっくりまわして見やすくしてくれたのが良かった」

「ケーキ作りで先生にほめられたと家に帰ってきて娘が嬉しそうに話してくれた」

「各工程ごとに作業内容を説明したプレートがあるととっても分かりやすい」

「ケーキを作る時に絞り袋にかけた消毒液が何なのか気になった」

(補足説明：これは食品や調理器具向けの殺菌作用のあるアルコール液です。食品工場やケーキ店、レストランなどで一般に使用されている、安全性が確認されたものです。)

### 不二家九州工場夏休み家族社会見学

不二家九州工場(佐賀県神埼郡)では、2007年8月22日に地元のお客様との交流の一環として、佐賀新聞社主催の「家族社会見学」に協賛し、工場見学を行いました。小学生とその保護者が訪れ、工場見学とケーキ作りを体験しました。

不二家の九州工場ではこのイベントを7年間継続して協賛しており、毎年約50名の参加者を受け入れています。



工場長挨拶



工場内を見学



### ● 情報開示とコミュニケーション

#### IRツールによる情報開示

不二家はIRツールを使って株主・投資家の皆様と綿密なコミュニケーションを図っています。

ホームページ上でのタイムリーなIR情報の提供や、報告書(旧事業報告書)などを通じた、わかりやすい情報開示に努めています。

**IR情報** <http://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>

ホームページ



報告書



#### 株主優待制度

年1回の権利確定日現在の株主様\*に対し、6月中旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

※権利確定日…毎年3月31日の最終の株主名簿または実質株主名簿に記載のある株主様

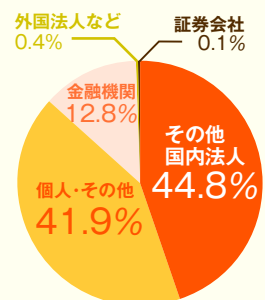


#### 株主ご優待の基準および内容

株主ご優待券は、不二家の洋菓子店・喫茶および不二家レストランでご利用いただけます。

所有株式数	ご優待内容
1,000株から4,999株まで	株主ご優待券 500円券×6枚
5,000株から9,999株まで	株主ご優待券 500円券×8枚
10,000株以上	株主ご優待券 500円券×12枚

#### 所有者別株式数割合



2008年3月31日現在

#### 株主様アンケート実施

不二家は、株主総会に出席された株主の皆様アンケートを実施し、当社に対する貴重なご意見をいただいております。

また、より多くの株主の皆様の声をお聞かせいただくため、インターネットを利用したアンケートの実施も行っています(報告書発行から2ヶ月間)。

昨年実施した株主総会では、「会場に階段などの段差が多く不便を感じた」というようなご意見をいただきました。本年は会場を変更し、できるだけ段差などが少ないバリアフリータイプの会場を選ぶなど、より多くの株主様にご満足いただける運営を目指しています。

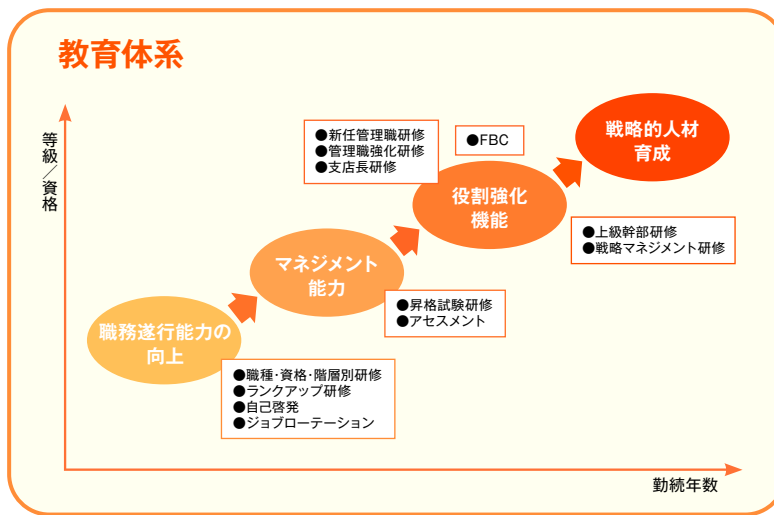


### ● 働きがいのある職場作り

#### 人材育成

不二家の人事制度の最重要ポイントは「やりがいのある仕事に携わり、夢を実現させる後押しのための仕組み作り」です。従業員自身が働く中で「幸せ」を感じ、この従業員の「幸せ」は不二家の商品・サービスがお客様に提供する「幸せ」にもつながってくると考えています。

それぞれの役割・職務を果たす能力を身に付けたくうえで、確実に成果に結び付けられ、環境変化を的確に捉え、自ら変革を実行できる人材を採用、育成しています。



#### 育児と介護を支援

不二家は育児や介護を行う従業員が、仕事と家庭を両立できるよう、育児・介護を支援する制度を設けています。

不二家での2007年育児休職者は5名でした。今後も制度利用を促進するために、さまざまな施策を講じていく方針です。

#### 従業員へのフォローアップ

不二家は職種・キャリアごとに通信教育プログラムを用意するとともに、プログラム修了者に対して補助金の支給を行うなど、社員ひとりひとりが自らのキャリア形成における支援を積極的に行っています。

また、2001年より個人の目的に応じた活動支援制度としてカフェテリアプラン制度を導入しました。自己啓発支援だけでなく、社内および家庭でのコミュニケーションを促進し、従業員の豊かな生活を応援しています。



#### 高齢者雇用

不二家は社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、豊富な経験と技術を持っている社員の活用を目指します。

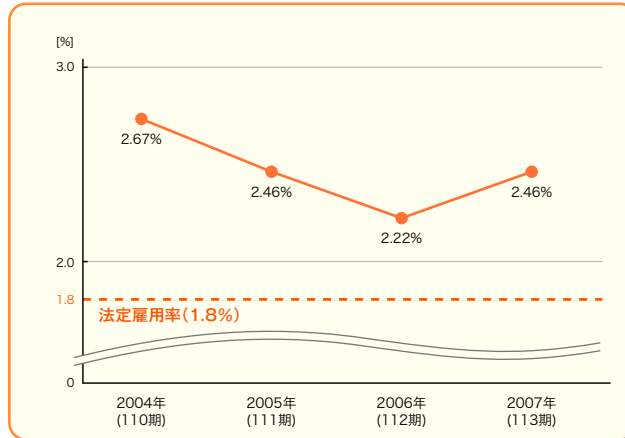
満60歳に達する社員のうち、再雇用を希望し、会社が提示する職務に合致した人を対象として再雇用する「再雇用制度」(60歳以降の再雇用)を導入しています。





### 障がい者雇用

不二家は全国の工場や本部事務職を中心に障がい者雇用率3%以上を目標として、雇用に取り組んでいます。2004年以降は法定雇用率(1.8%)を達成しており、2007年3月末現在の障がい者雇用率は2.46%となっています。



障がい者雇用率

### 50歳からのライフプラン設計の支援(シニアフォーラム)

不二家は50歳以上の社員を対象に毎年1泊2日での研修会(シニアフォーラム)を開催し、外部講師を招き、ライフプランの知識習得や、50歳代からの働き方についてディスカッションを行うなど、積極的な支援を行っています。



ライフプラン発表の様子

### 社内コミュニケーションの促進

社内の風土改革を進める中で、社内情報の共有、コミュニケーションの促進が重要であることを再認識し、社内の若手メンバーを中心に社内報チームを発足させ、従来の社内報を一新しました。

新社内報「Sweeteeet!!(スウィート)」は、「経営者からのメッセージ」から「社内の身近な話題」までを共有し、従業員間のコミュニケーションツールとして活用しています。

また、よりタイムリーな社内情報の共有を目的に、毎週「WEEKLY Sweeteeet!!」の発行も行っています。



Sweeteeet!!(4回/年 発行)



WEEKLY Sweeteeet!!(毎週発行)

※「Sweeteeet!!」の4つの「e」は、不二家のコア事業である「洋菓子」「外食」「菓子」「食品(飲料)」の4つの事業を表現しています。



### ● 安全で働きやすい職場作り

#### 労働安全衛生

不二家はすべてのお客様に、安全で安心な商品をお届けするために、従業員の安全・健康に配慮し、それぞれの事業所の全従業員が安心して働ける職場環境作りが不可欠だと考えます。

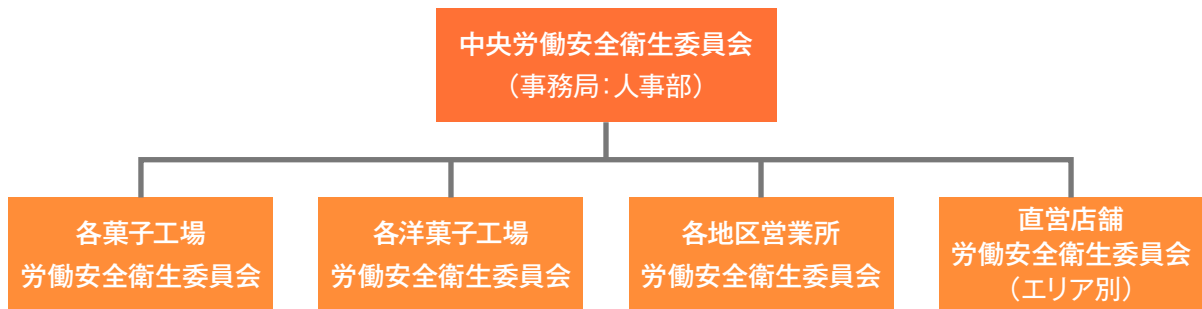
このために、労働災害の防止や、心身の健康維持増進に向けた施策を実施しています。

全社的な労働安全方針の策定や、安全対策の実施、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」と、全国の工場、営業所・支店、また直営店舗(エリアごと)における労働安全衛生委員会を組織し、現場での問題への取り組みや、緊急連絡網の整備、また災害発生時における迅速な対応を図ります。

#### 不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、  
社員の安全と健康の確保を第一とし、働きやすく、快適な職場作りを行います。」

- ①労働災害ゼロを目指します。
- ②健康管理の対策を講じ、社員の健康維持増進を進めます。
- ③正規社員だけでなく、パートなど臨時社員を含めた全社員で労働安全衛生の取り組みに参画し、全社員で労働安全衛生の認識を共有します。



#### メンタルヘルス・ケアへの配慮

不二家は職場でのメンタルヘルス研修に基づき、「不二家メンタルヘルス・ケアのガイドライン」を作成し、全国の管理職を中心にメンタルヘルス・ケアについての講習会を行い、職場での過度なストレスやメンタルヘルス疾患などの、早期発見と予防についてなどのアドバイスをいたしました。

また、外部窓口を利用したメンタルヘルスカウンセリング(面接・電話)を設置(不二家健康保険組合)するなど、従業員が気持ち良く働ける職場作りに取り組んでいます。



不二家メンタルヘルス・ケアのガイドライン

#### 労使協力関係

不二家は管理職および経営に関する部署の人員を除く全社員が「不二家労働組合」に加入しています。

労使間では相互の信頼を基調とし、重要な経営上の課題について検討協議する「労使協議会」を定期的で開催し、さまざまな経営施策について労働組合より業務の現場の状況を踏まえた提言を受けています。

また、「経営協議会」では人事労務関係の諸制度などについて十分に協議しながら新制度の導入や、改善を行っています。



### ● 不二家ファミリー文化研究所とは

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家が、「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何ができるだろう?」という想いから2003年4月に誕生しました。

不二家ファミリー文化研究所の所長は、研究所の創始者であり、現在は社長である櫻井が兼務しています。テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

食品を扱う私たちにとっていうまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして創業以来、「ファミリーの不二家」という企業理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

### 活動内容

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子を扱う企業として、お菓子に対する興味喚起や情報のご提供」などを行っています。

具体的には、ホームページ「ペコちゃんの森」や、不二家ファミリー文化研究所が発行する小冊子にてご報告をしています。季刊発行している小冊子は、全国の不二家洋菓子店舗、営業所、関連する工場や本社などに配布しており、不二家ファミリー文化研究所の活動やホームページのご紹介、また作文の募集告知などを行っています。

### ホームページ「ペコちゃんの森」

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ホームページ「ペコちゃんの森」(<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)を立ち上げました。

ホームページ「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場であると同時に、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。



### ホームページコンテンツ

#### ■ エッセイ・あいうえお作文の募集

“家族”をテーマに掲げた「エッセイ」や「あいうえお作文」などの公募を実施しています。

#### ■ 「食」に関するコラムの掲載

毎日新聞社発行の「毎日小学生新聞【食の歳時記】」に掲載された食にまつわる話や、季節の祭事に関する話を、イラストを交えながらご紹介しています。

#### ■ 日本の風土や文化についてのご紹介

日本各地の風土や文化、現地の人々との温かいエピソードを毎月ご紹介しています。

#### ■ 世界の文化についてのご紹介

日本にお住まいの外国人の方や、海外に滞在経験のある日本の方から、その国の食文化や生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについてインタビューをし、写真を交えてご紹介しています。

#### ■ アンケート調査の実施

毎回さまざまなテーマ(家族、結婚、父親、子供のおやつや文化など)に基づきアンケート調査を実施し、調査結果をより読みやすくするため、マンガにて連載をしています。

このほかにも、パソコンでご利用いただける「無料壁紙カレンダー」の配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントご報告なども随時ご紹介しています。





## ● イベント活動

不二家は、「食育」や「自然」をテーマにしたイベントへの参加を実施しています。  
親子のふれあいの場や、お客様と一緒に楽しく学ぶ場を意欲的に設けています。

### めざせ!食育マイスター

2006年より、食育活動の一環として、毎日小学生新聞様主催の「めざせ!食育マイスター」に不二家ファミリー文化研究所が協賛しています。

毎日新聞社が発行する小学生を対象とした媒体である毎日小学生新聞様と不二家ファミリー文化研究所が企画から運営まで共同で行い、オリジナリティある内容になっています。

2008年3月に行われたこのイベントでは、親子約30人が参加し、陶器作り体験を通して「おもてなしの心」を楽しく学びました。



食育マイスター  
(2008年3月)

### えびなネイチャーウォーク

不二家ファミリー文化研究所と毎日小学生新聞様とで企画した「自然」を学ぶ内容のイベント「えびなネイチャーウォーク」は、神奈川県海老名市で、2007年12月に開かれました。小学生の親子約30人が参加し、自分の足で歩きながら、自然や歴史について楽しく学びました。



えびなネイチャーウォーク  
(2007年12月)

### 親子自然体験教室

生活協同組合コープこうべ様と共同企画で行っている「親子自然体験教室」は、お子様の夏休み期間を利用して2泊3日の宿泊体験を行う企画で、1991年より毎年実施しています。

自然の中で行うゲームや、野菜の収穫などを通じ、自然の恵みや大切さを肌で感じることができるイベントです。



親子自然体験教室  
(2007年8月)

これらのイベントの様子は、ホームページ「ペコちゃんの森」にて、随時ご報告しています。







### ● トラスト活動

#### 黒姫「ペコちゃんの森」

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄付をしました。

また、購入し寄付した森は、寄贈先のご理解を得て、「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議/工場(議長 倉本 聡氏、副議長 C.W.ニコル氏)」です。

この2,000坪強の「小さな森」は、熊笹や灌木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て、徐々に明るさを取り戻してきました。今後も定期的に不要な木を伐採して地面に日光を導き、ブナやドングリを始めとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって森の自然にどのような変化が生ずるのかを観察するのも森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化をしている「ペコちゃんの森」の様子をホームページ内にて定期的にご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っていきます。

#### 従業員による森林整備活動の実施

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議様のご協力のもと、「ペコちゃんの森」の整備活動を定期的に行っています。

2007年8月に行った整備活動では、社内から募った約20名の有志とともに、「刈り払い作業(=樹木の成長を妨げる雑草を切り払う作業)」を行いました。また、「C.W.ニコル氏の講話」「アファンの森財団の石井氏による森のお話」を伺いました。森林整備の大切さ、健康な森作りについての知識を高めながら、これからも整備活動を続けていきます。



アファンの森



ホームページ「ペコちゃんの森」  
でのご紹介ページ



C.W.ニコル氏の講話

### VOICE

#### 森林整備活動2007 参加者の感想

一番の収穫は、C.W.ニコル氏が語ってくれた「森や自然を次世代に残していく」ことを実践している背景や、森によせる想いを聞くことができたことです。

作業では目一杯の汗をかき、整備後の森全体の散策では自然と触れ合う事もできました。作業は大変でしたが、自然の大切さを改めて認識できた一日だったと思います。

CSR推進部長  
**古屋 忍**



「森は生きている」という、C.W.ニコル氏の有名な言葉がありますが、「事実 森は生きていた」、これが私の率直な感想です。

人間が整備しないと、森は死んでしまうということ、森が死ぬと人間を含めたほかの動植物も死んでしまうということを初めて知りました。森から学ぶことはたくさんありましたが、C.W.ニコル氏からも学んだことがあります。それは、「周りの人を変えるには、まず自分が変わらなければならない」ということです。私自身も口だけでなく、変わらないといけないと改めて思いました。

食品安全衛生管理本部 品質管理担当  
**西江 幸記**



# 外部からのご意見

## 「外部から不二家の発展を見守る会」からのご意見を受けて

5回にわたる「外部から不二家の発展を見守る会」の中で、お客様が今不二家に求めているものを取り入れた商品を早急に開発し、発売に向けて邁進するようご意見をいただきました。コンセプト作りからお客様に参加していただき、味やパッケージデザインについてなど、意見交換をしながら商品を開発するなど、積極的にお客様からのご意見を取り入れた商品開発に取り組んでいます。

菓子工場の見学を行った際には、機械化された設備、生産現場、品質管理の様子をご覧いただいたほか、委員の皆様と工場従業員との直接対話を行い、委員からは、「この1年で従業員の意識も含め、どこが変わったか」などの質問が出されました。

これに対し従業員からは、「一連の問題が起きた時には他部門のことだという認識があったが、コンプライアンス教育、AIBやISOへの取り組みを通して、当事者としての責任を感じてきた」との発言がありました。委員からは、「それが全社一丸となってきたことの証拠である」との評価をいただきました。



会議の様子  
(2008年3月：第4回富士裾野工場見学)

## 消費者団体との交流

消費者団体様に対して工場現場の改善状況や安全衛生の取り組み、不二家の社会に対する取り組みなどを説明するとともに、活発な意見交換を行い、さまざまなアドバイスをいただきました。



当社の取り組みについてご説明



会員の皆様とディスカッション

## 食に関するオピニオンリーダーとの交流

食に関するアドバイザーやジャーナリストの方々など、食専門のオピニオンリーダーの皆様に対しても、信頼回復のための取り組みや安全衛生の取り組みについての説明、工場見学、意見交換などを実施しました。

オピニオンリーダーの皆様との意見交換の内容については不二家ホームページ上で公開しています。

<http://www.fujiya-peko.co.jp/company/monitor/leader.html>



当社の取り組みについてご説明



埼玉工場内を見学

不二家は「AIB食品安全システム」の導入により、安全な商品を生産するための体制を整えるとともに、社長直轄の食品安全衛生管理本部を設置するなど、管理検査体制の強化も図ってまいりましたが、外部の皆様からいただいたご意見の中には、仕組みや組織の強化だけではなく、従業員の意識改革の必要性についてのご指摘もありました。

このようなご意見を受け、企業風土改革委員会を設置し、不二家で働く従業員の意識改革を進めるため、CSR推進部コンプライアンス室を中心に、パート・アルバイトを含む全従業員を対象に継続的にコンプライアンス、新行動規範などの勉強会を実施しております。

今後も引き続き、外部の皆様との意見交換や工場見学などを実施し、不二家の取り組みについてご報告を行うと同時に、ご意見ご指摘をいただきながら、食の安全・安心への取り組みを進めてまいります。



# 環境

省資源、省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供できると考えています。

ISO14001活動の中で、従業員の環境意識向上にも取り組んでいます。



## 環境方針

…… 36

## 事業活動のマテリアルバランス

- マテリアルバランス

…… 37

## 環境マネジメント

- 環境目的・目標および実績概要
- 環境推進体制
- 環境教育
- 法令などの遵守状況

…… 38  
…… 40  
…… 41  
…… 41

## 環境保全活動

- 省資源・省エネルギーへの取り組み
- 省資源
- 廃棄物の減量化とリサイクルへの取り組み
- CO<sub>2</sub>削減キャンペーン
- グリーン購入、購買
- 環境負荷物質

…… 42  
…… 43  
…… 44  
…… 45  
…… 45  
…… 46

## サイトレポート

- 菓子工場
- 洋菓子工場

…… 47  
…… 48

2000年2月に、行動規範に基づく環境問題への積極的な取り組みの基本方針である「環境宣言」を制定し、富士裾野工場を皮切りにISO14001の認証取得活動への取り組みを開始しましたが、「新しい不二家に生まれ変わります」という社長の考えのもと、環境に対する見直しを行い、2007年6月、環境宣言を更新しました。

### 【 環境宣言 】

#### 〈基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識致します。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健康と安全を守ると共に、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献して参ります。
- 今後は、更に事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動して参ります。

#### 〈基本方針〉

1. 事業活動、商品、業態、サービス等がかかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
2. 環境関連の法律、規制、協定等の遵守はもとより社会的要請に応えうる環境管理体制の整備と充実を図ります。
3. 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクル及び環境汚染物質排出量の削減に取り組めます。
4. 地域における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組めます。
5. 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的に行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

「環境との調和」を目指し、環境問題への取り組みを具体的に推進し、併せて社会への貢献を図る事を宣言致します。

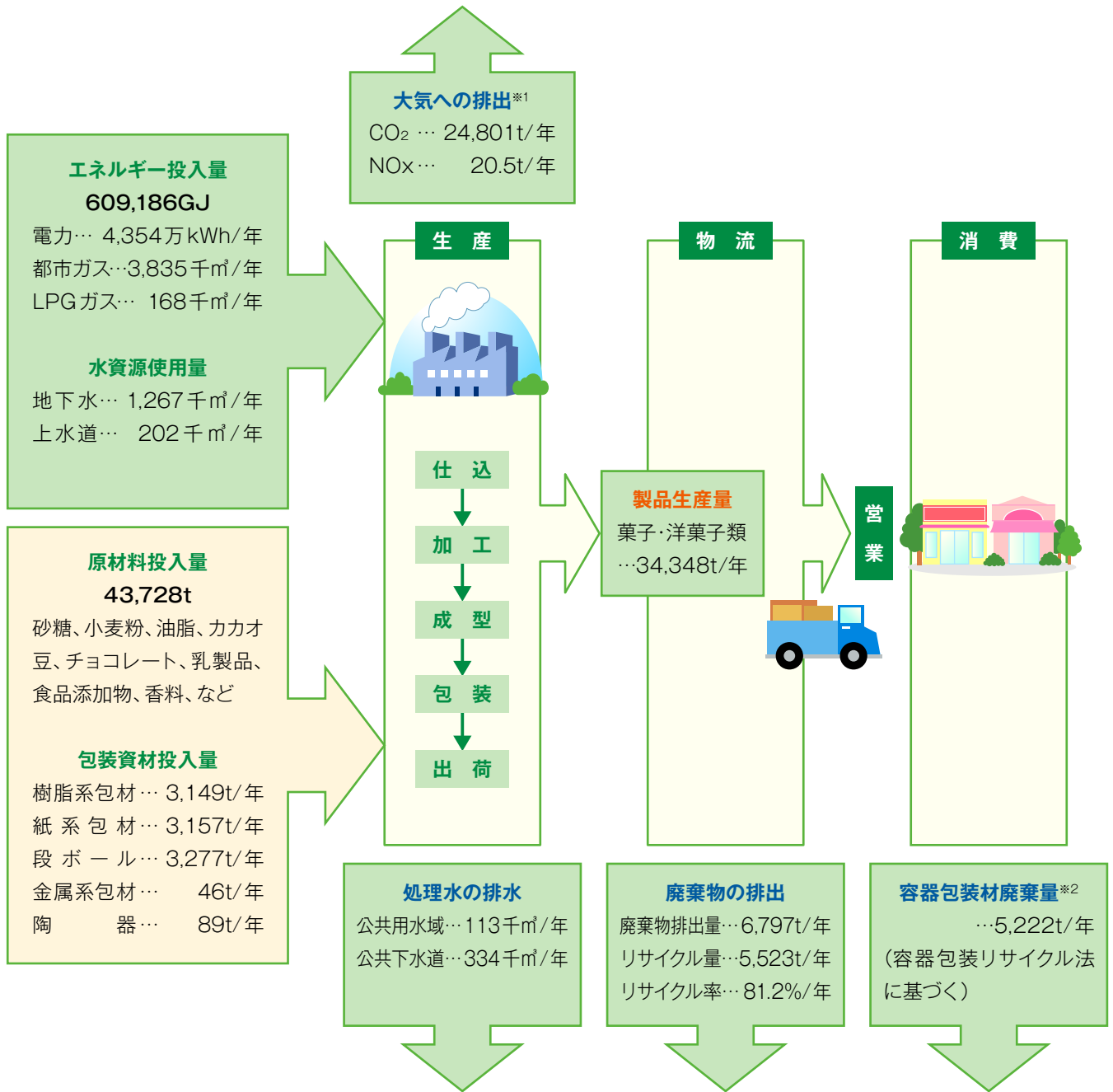
2007年6月27日

株式会社不二家 環境対策責任者  
食品安全衛生管理本部長 澤田 静雄



● マテリアルバランス

2007年度 製造6工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場、泉佐野工場)のマテリアルバランス(2007年4月～2008年3月)



※1:投入されたエネルギーについてCO<sub>2</sub>を算出しています。  
※2:容器包装材廃棄量は、不二家全体(食品を除く)の2006年度実績になります。

算定に使用した係数

エネルギー投入量 [MJ]		CO <sub>2</sub> 排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]			
購入電力	9.97	[MJ/kWh]	0.000339	[t-CO <sub>2</sub> /kWh]	秦野工場、平塚工場
			0.000481		野木工場、埼玉工場
			0.000338		富士裾野工場
					泉佐野工場
都市ガス	41.1	[MJ/N m <sup>3</sup> ]	0.00208		[t-CO <sub>2</sub> / m <sup>3</sup> ]
LPGガス	50.2	[MJ/kg]	0.00621		[t-CO <sub>2</sub> / m <sup>3</sup> ]

### ● 環境目的・目標および実績概要

製造6工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場、泉佐野工場)は、環境宣言に基づく基本方針をふまえて、各工場において目標を立てて環境活動に取り組みました。

※基準年度データは、2006年1月～12月の実績値をもとにしています。

※2007年度は2007年4月～2008年3月

#### 菓子工場

対象工場：秦野工場

目的	具体的取り組み項目	2007年度目標	2007年度実績	評価
省資源・省エネルギー	電力使用量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比5.1%の削減	😊
	都市ガス使用量の削減	基準年度比0.2%の削減	基準年度比1.4%の削減	😊
廃棄物の削減	動植物性残さの排出削減	基準年度比0.8%の削減	基準年度比109.3%の増加	😞
	廃包装フィルムの削減	基準年度比0.4%の削減	基準年度比6.6%の削減	😊
廃棄物のリサイクル	総廃棄物のリサイクル率の向上	実行目標値86.5%以上	実績値76.8%	😞
環境汚染物質排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	基準年度比5.1%の削減	基準年度比8.1%の増加	😞
	処理水排出量の削減	基準年度比2.7%の削減	基準年度比12.2%の削減	😊
グリーン調達	環境対応製品購入の促進	7品目以上購入	11品目購入	😊
社会貢献活動の推進	地域の環境保全活動への参加	4名	4名	😊
緑化活動の推進	工場内植樹の実施	植樹3本	植樹3本	😊
	工場周辺の環境美化活動	草刈24名 ゴミ拾い16名	草刈50名 ゴミ拾い16名	😊

対象工場：平塚工場

目的	具体的取り組み項目	2007年度目標	2007年度実績	評価
省資源・省エネルギー	電力使用量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比14.7%の削減	😊
	都市ガス使用量の削減	基準年度比0.5%の削減	基準年度比13.4%の削減	😊
廃棄物の削減	動植物性残さの排出削減	基準年度比9.4%の削減	基準年度比56.5%の増加	😞
	廃包装フィルムの削減	基準年度比8.5%の削減	基準年度比20.4%の増加	😞
廃棄物のリサイクル	総廃棄物のリサイクル率の向上	実行目標値80.0%以上	実績値77.0%	😞
環境汚染物質排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	基準年度比0.9%の削減	基準年度比21.2%の削減	😊
グリーン調達	環境対応製品購入の促進	4品目以上購入	4品目購入	😊
社会貢献活動の推進	地域の環境保全活動への参加	15名以上	15名	😊

対象工場：富士裾野工場

目的	具体的取り組み項目	2007年度目標	2007年度実績	評価
省資源・省エネルギー	電力使用量の削減	基準年度比1.5%の削減	基準年度比6.3%の削減	😊
廃棄物の削減	動植物性残さの排出削減	基準年度比2.5%の削減	基準年度比16.3%の増加	😞
	廃包装フィルムの削減	基準年度比1.5%の削減	基準年度比23.9%の削減	😊
廃棄物のリサイクル	総廃棄物のリサイクル率の向上	実行目標値85.1%以上	実績値86.8%	😊
環境汚染物質排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	基準年度比11.0%の削減	基準年度比1.4%の削減	😞
グリーン調達	環境対応製品購入の促進	新規2品目以上購入	新規3品目購入	😊
社会貢献活動の推進	地域の環境保全活動への参加	14名以上	25名	😊



### 洋菓子工場

対象工場：野木工場

目的	具体的取り組み項目	2007年度目標	2007年度実績	評価
省資源・省エネルギー	電力使用量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比14.0%の削減	😊
	LPG使用量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比19.2%の削減	😊
	水資源使用量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比27.3%の削減	😊
	OA用紙使用量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比8.5%の削減	😊
廃棄物の削減	動植物性残さの排出削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比15.4%の削減	😊
	動植物性残さ(飼料化)の排出削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比15.8%の削減	😊
	廃プラスチックの排出削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比17.9%の削減	😊
	廃包装フィルムの排出削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比2.7%の削減	😊
廃棄物のリサイクル	総廃棄物リサイクル率の向上	月平均82.0%以上	月平均 87.0%	😊
環境汚染物質排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比21.3%の削減	😊
緑化活動の推進	工場内植樹の実施	植樹 5本	植樹 5本	😊
	工場周辺の環境美化活動への参加	15名	42名	😊
防災管理	防災管理の向上	防災訓練 1回	防災訓練 2回	😊

対象工場：埼玉工場

目的	具体的取り組み項目	2007年度目標	2007年度実績	評価
省資源・省エネルギー	電力使用量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比9.1%の削減	😊
	都市ガス使用量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比8.0%の削減	😊
	LPG使用量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比19.9%の削減	😊
	水資源使用量の削減	基準年度比5.0%の削減	基準年度比9.7%の削減	😊
	OA用紙使用量の削減	基準年度比3.0%の削減	基準年度比23.9%の増加	😊
廃棄物の削減	動植物性残さの排出削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比2.1%の増加	😊
	動植物性残さ(飼料化)の排出削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比12.9%の削減	😊
	廃プラスチック類(残さ付)の排出削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比11.4%の削減	😊
	廃プラスチック類の排出削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比6.6%の削減	😊
廃棄物のリサイクル	総廃棄物リサイクル率の向上	月平均81.0%以上	月平均 84.1%	😊
環境汚染物質排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	基準年度比1.0%の削減	基準年度比11.8%の削減	😊
グリーン調達	環境対応製品購入の促進	4品目以上購入	20品目購入	😊
緑化活動の推進	工場周辺の環境美化活動	緑地の補整管理	2回実施	😊

対象工場：泉佐野工場

目的	具体的取り組み項目	2007年度目標	2007年度実績	評価
省資源・省エネルギー	電力使用量の削減	基準年度比1.2%の削減	基準年度比5.6%の削減	😊
	都市ガス使用量の削減	基準年度比1.3%の削減	基準年度比0.2%の増加	😊
	水資源使用量の削減	基準年度比4.4%の削減	基準年度比15.2%の削減	😊
廃棄物の削減	動植物性残さ(飼料化含む)の排出削減	基準年度比1.3%の削減	基準年度比13.9%の増加	😊
	廃プラスチック類の削減	基準年度比1.1%の削減	基準年度比1.1%の削減	😊
廃棄物のリサイクル	総廃棄物のリサイクル率の向上	実行目標値75.0%以上	実績値49.0%	😊
環境汚染物質排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	基準年度比1.2%の削減	基準年度比8.8%の削減	😊
グリーン調達	環境対応製品購入の促進	2品目以上購入	0品目	😊
緑化活動の推進	工場内植樹の実施	植樹 10本	植樹 0本	😊

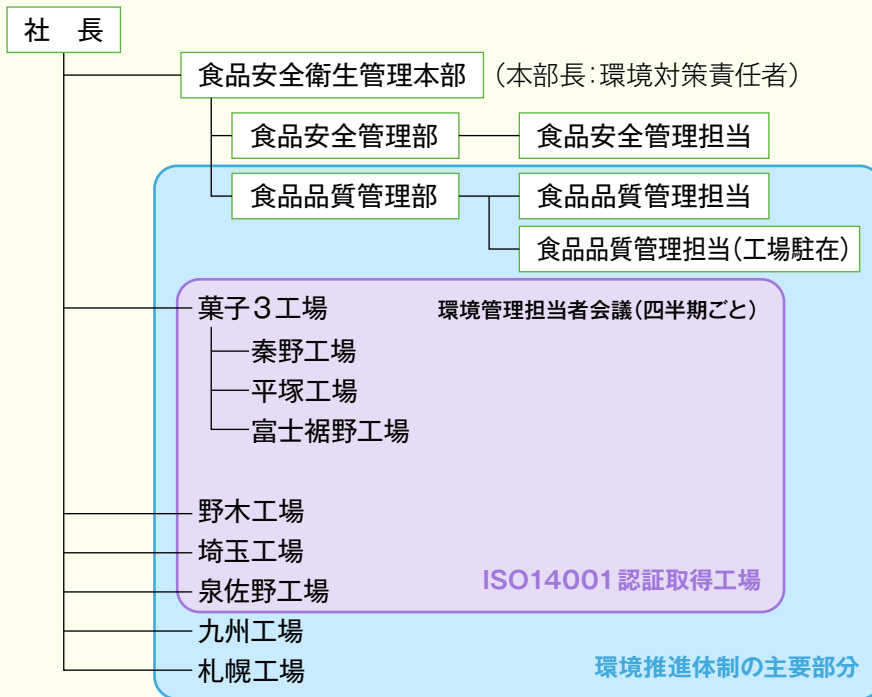
## ● 環境推進体制

食品安全衛生管理本部は食品安全管理部と食品品質管理部を設置することで食品安全衛生体制と環境管理体制について強化しました。

また、各工場を社長直轄にすることで管理監督強化とともに、迅速な行動とコミュニケーションの強化を図りました。

ISO14001 認証取得各工場では、それぞれ環境管理責任者が「環境管理委員会」を主催し、EMS(環境マネジメントシステム)で設定した目的・目標達成のための具体的な取り組み状況とその結果としてのパフォーマンス達成状況を毎月確認し、改善活動を推進しています。さらに各工場間では、環境管理担当者会議を定期的に行い、各工場間の技術や情報の交換による環境マネジメントシステムの継続的改善を図っています。

### 推進体制 ※2008年3月31日現在



### ISO14001 認証取得工場における環境管理組織体制

環境管理委員会(毎月)

#### 【菓子】菓子3工場



※菓子3工場は統合認証を取得しています。

#### 【洋菓子】(野木工場・埼玉工場・泉佐野工場)





## ● 環境教育

環境マネジメントシステムの運用には、システムを運用する従業員ひとりひとりの意識の向上、適切な知識が欠かせません。ISO14001 認証取得工場では、全従業員を対象とした環境教育や内部監査員教育を実施し、知識レベルの向上に努めるとともに、緊急事態を想定した訓練・テストを実施し、環境への影響の予防および負荷の低減に努めています。



環境教育の様子



緊急事態想定訓練(泉佐野工場)

## ● 法令などの遵守状況

不二家の生産工場に適用される主な環境関連法は以下の通りです。  
月1回の環境管理委員会において、遵守状況の確認を行っています。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| ●大気汚染防止法  | ●自動車NOx・PM法 |
| ●水質汚濁防止法  | ●水道法        |
| ●騒音・振動規制法 | ●浄化槽法       |
| ●悪臭防止法    |             |
| ●下水道法     |             |
- 
- エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネルギー法)
  - 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)
  - 資源の有効な利用の促進に関する法律
  - 食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)
  - 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律  
(容器包装リサイクル法)
- 
- |            |              |
|------------|--------------|
| ●毒物及び劇物取締法 | ●フロン回収破壊法    |
| ●労働安全衛生法   | ●消防法         |
| ●グリーン購入法   | ●自治体との公害防止協定 |
| ●食品衛生法     | ●業界の環境自主行動計画 |
| ●JAS法      | ●環境宣言        |

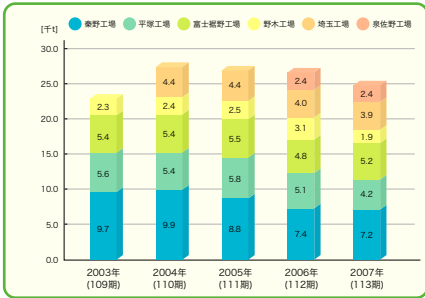
### ● 省資源・省エネルギーへの取り組み

地球温暖化防止のためのCO<sub>2</sub>排出量削減として、省エネルギー活動を推進しています。

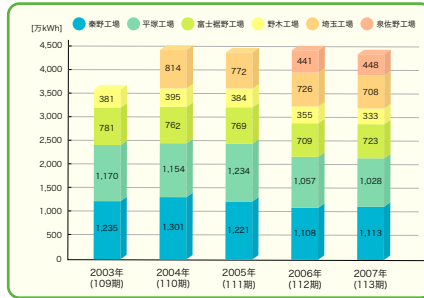
#### CO<sub>2</sub>排出量削減対策

地球温暖化防止のために、より環境負荷の低いエネルギー源の使用を検討した結果、富士裾野工場のボイラー燃料などをA重油、LPGから都市ガスへ2007年度において完全転換しました。

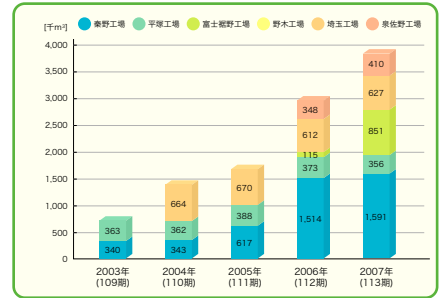
その結果、過去5年間のCO<sub>2</sub>排出量は、2006年度以降、泉佐野工場を集計範囲に追加したにも関わらず、2004年度をピークとしてゆるやかに減少しています。



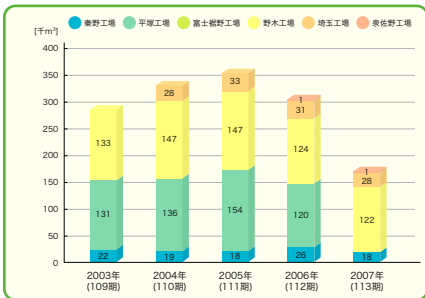
CO<sub>2</sub>排出量推移



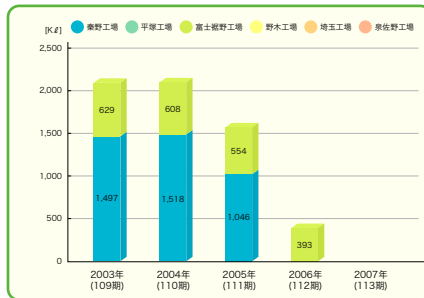
電力使用量推移



都市ガス使用量推移



LPG使用量推移



A重油使用量推移

不二家は、地球温暖化防止のためのCO<sub>2</sub>排出量削減を推進するために、今後ともより環境負荷の低いエネルギー源の使用を検討して、省エネルギー活動を進めていきます。

#### フロン対策

製造工場では、チョコレートの冷却工程や、洋菓子成型室の空調管理、原材料保管のために、クーラーや冷蔵冷凍庫などの冷却・冷凍設備を使用しています。

冷却・冷凍設備に使用されている冷媒については、オゾン層破壊防止および地球温暖化防止の観点から、より環境負荷の低い冷媒を使用した設備への切り替えや、大気中への漏洩防止のための定期的な設備点検を行っています。

2007年度においては、秦野工場のウェハース成型ラインにおけるクーリングトンネル(冷却装置)を更新した際に、冷媒としてHCFC-22から、HFC-404aを使用した設備に切り替えました。



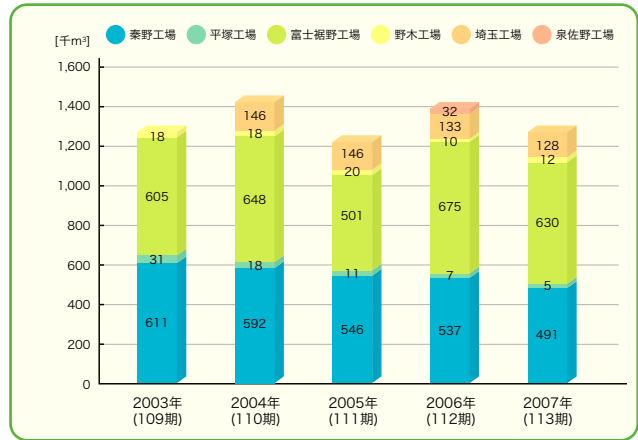
クーリングトンネル(秦野工場)

● 省資源

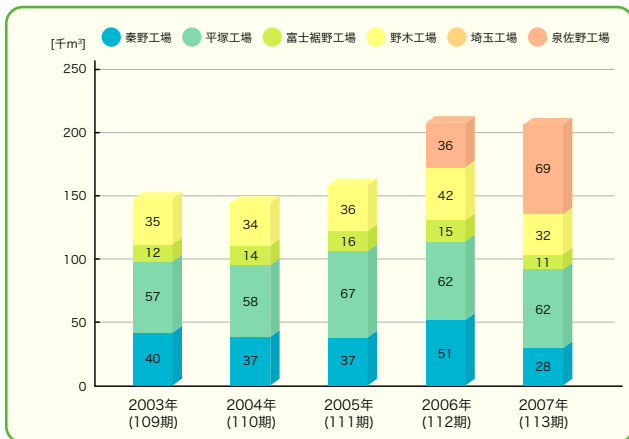
地下水、水道水の使用量

省資源活動として、地下水、水道水の使用量削減に取り組んでいます。

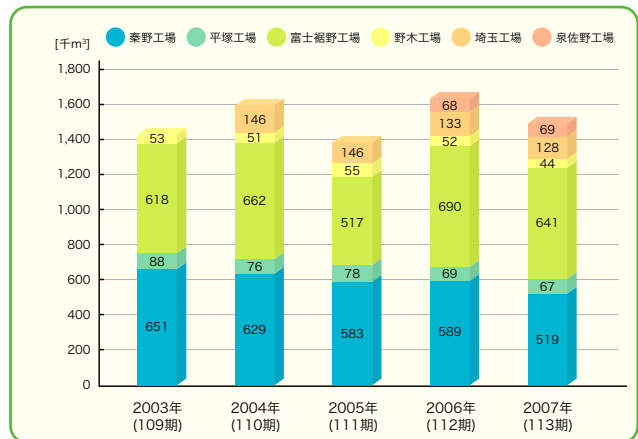
泉佐野工場では、設備老朽化に伴い、地下水から水道水への利用切り替えを行ったため、前年より大幅に水道水使用量が増加しています。



地下水使用量推移



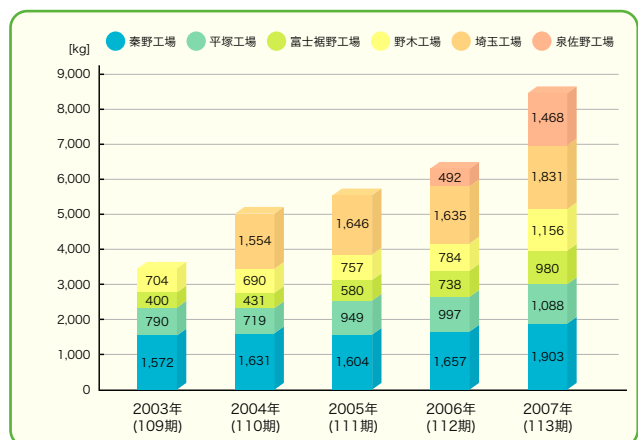
水道水使用量推移



総水使用量推移

ISO14001 認証取得工場のOA用紙使用量

事務用紙の削減のために両面印刷の徹底、会議資料の電子化、社内イントラネット化での情報共有の手段により印刷用紙の削減に努めていますが、特に2007年度はAIBフードセーフティ (AIB 食品安全統合基準) の監査システムや品質マネジメントシステムによる工程管理強化、社内教育、研修などを重点的に行ったため、前年度に比べて大幅にOA用紙使用量が増加しました。

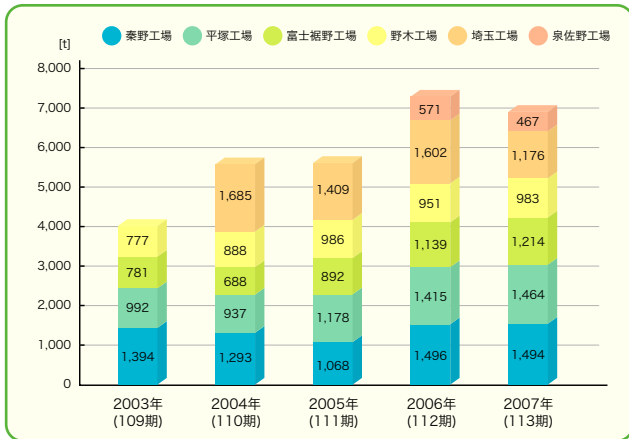


OA用紙使用量推移

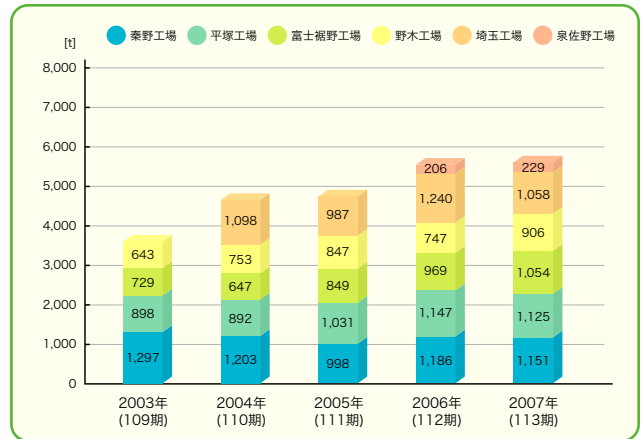
## ● 廃棄物の減量化とリサイクルへの取り組み

製造工場では、リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化)の3Rの考え方を基本に、廃棄物の減量と再資源化の推進に取り組んでいます。

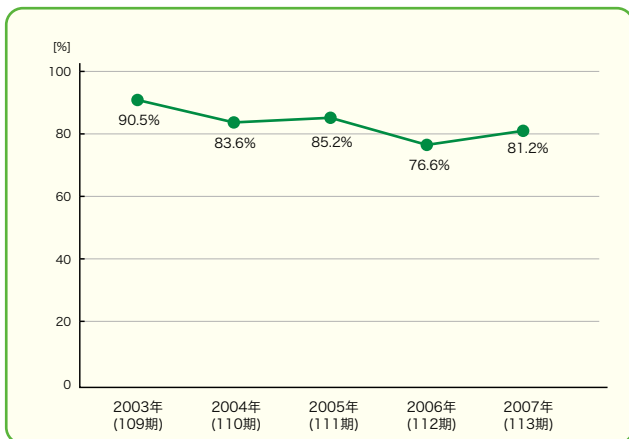
2006年度、2007年度は、一連の問題への対応により廃棄物排出量が例年に比べて大幅に増加しました。このような状況の中、2007年度においてはリサイクル処理に努め、リサイクル率は前年度よりも4.6ポイント上昇し、81.2%になりました。



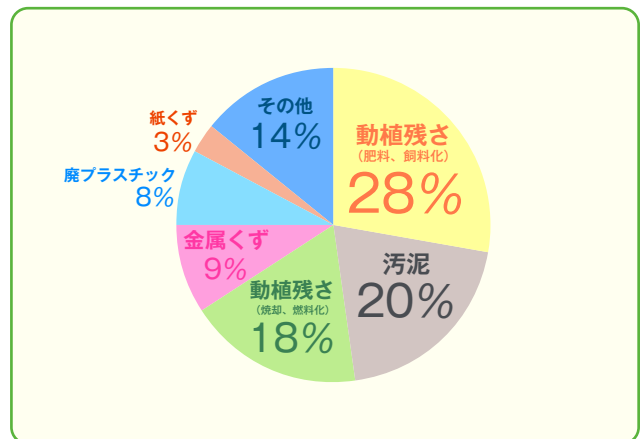
総廃棄物排出量推移



リサイクル量推移



製造6工場のリサイクル率推移



製造6工場の廃棄物排出の種類と比率

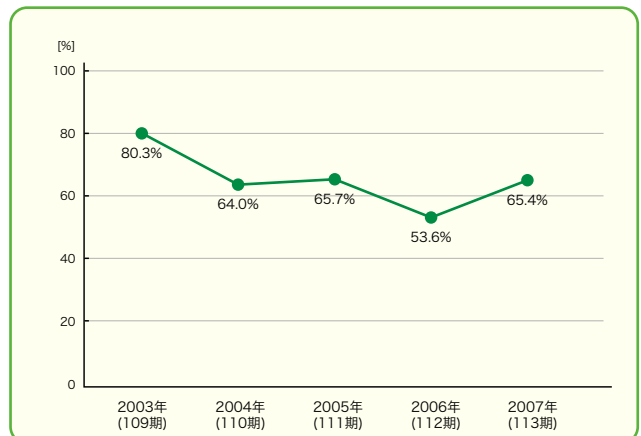
## 食品リサイクル率

製造工場から排出される動植物性残さ\*や食堂からの調理残さは、主に肥料や飼料化することで再生利用しています。

食品リサイクル率の推移を見ると、2004年に埼玉工場が認証取得し集計範囲に加わり、その原料および製品の特性からリサイクルが困難だったため、全体の食品リサイクル率が低下しました。加えて2006年は一連の問題で製品廃棄に伴い、食品リサイクル率が低下してしまいました。

今後は、製品特性に合わせた処理委託先の調査・検討など、受け入れ先の拡大を図り、食品リサイクル率向上に努めていきます。

\*動植物性残さ：食品製造業など特定の業種の製造工程から排出される固形状廃棄物で、原料として使用した動植物に関わる不要物。大部分は飼料・肥料として利用され、一部が焼却処理、埋め立て処分されます。



製造6工場の食品リサイクル率推移

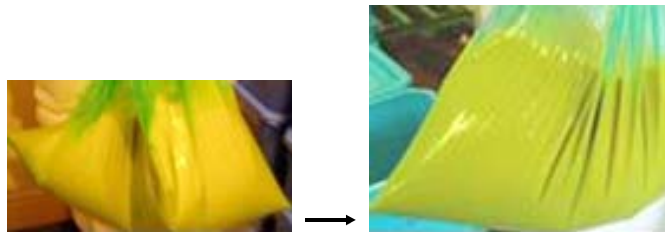




### その他の3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取り組み

食品製造過程において廃棄物を削減するためには、製造原料や包装資材などそれぞれの特性にあわせた対策が必要になります。たとえば製造原料についてはリユース(再使用)することができないため、歩留まり改善への取り組みによりロスとして排出される廃棄物のリデュース(発生抑制)に努めています。一方、製造原料の輸送に用いた容器についてはリユース(再使用)することで原料容器廃棄物の発生を抑制することができます。

埼玉工場では、原料として使用する液全卵の荷姿を大型化(10kg→16kg)することで使用後に発生する廃プラスチックを抑制したり、使用頻度の少ない原料の荷姿を小口化(10kg/缶→3kg/袋)することで原料廃棄ロスを抑制したりしています。



液全卵の荷姿大型化(埼玉工場)

秦野工場では、納品業者の協力を得ながら包装資材の梱包材使用量の低減に努めています。また平塚工場では、包材在庫品の回収利用など環境負荷低減に努めています。



包材在庫品の回収利用(平塚工場)

### ● CO<sub>2</sub>削減キャンペーン

不二家は、環境省が地球温暖化防止のための国民運動として実施している「1人1日1kgCO<sub>2</sub>削減キャンペーン」に協賛しました。

札幌・首都圏・名古屋・大阪・福岡の一部直営店舗において、2008年1月7日～2月29日までの期間に、ご来店の方で個人登録証を提示していただいた方先着50名様に「ペコちゃんエコバッグ」を差し上げました。また、社内イントラネットを活用し、キャンペーンについての啓蒙を行うとともに、個人での参加を促進しました。



環境省発行の協賛企業証

### ● グリーン購入、購買

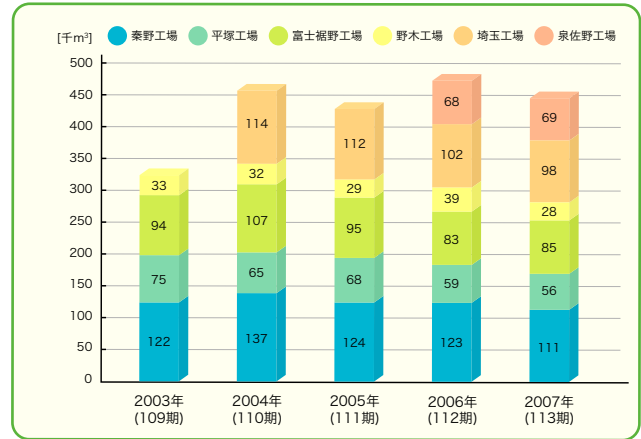
使用する事務用品に関して、グリーン購入を行っています。

製造工場では、「グリーン購入法」の「特定調達品目およびその判断基準」を参考に、エコマーク、グリーンマークなどの環境ラベルが表示された事務用品を年度ごとに目標を持って購入しています。また、社内で使用するコピー用紙や封筒は、積極的にリサイクル用紙を使用しています。

## ● 環境負荷物質

### 総排水量とその低減対策

排水量の抑制のために各工場では設備、器具などの洗浄方法の改善、節水手順の遵守を行い、排水の抑制に努めています。



総排水処理量推移

### PRTR法に基づく指定化学物質の適正管理

不二家は食品の科学的な分析を行うための施設として、分析センターを秦野工場に隣接して設けています。

そこで使用する化学物質に関しては「試薬管理手順」を作成し、安全管理の徹底を行っています。

PRTR法<sup>\*1</sup>に基づく指定化学物質の取り扱い量は、毎年度の調査の結果、法で定める要件に該当する量は取り扱いませんでした。

### 輸送に関わる環境負荷の状況およびその低減対策

不二家は、輸送における環境負荷の低減を図るために、全国の配送地域において菓子配送共同化の取り組みを進めています。

#### 発送地域別 共同発送メーカー数

発送地域	北海道	東北	関東	信越	山梨	静岡	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
共同配送メーカー数	3	4	2	4	2	6	3	3	2	4	6	2	2

モーダルシフト<sup>\*2</sup>の取り組みとして、神奈川→大阪の幹線輸送のうち毎日1便トラックから鉄道コンテナへと切り替えました。神奈川→福岡では平均30%、静岡→福岡では平均50%の鉄道コンテナを使用しています。

また、より効率的な配送のために、2008年1月より、神奈川→札幌の輸送において10t車からトレーラーに切り替えました。

今後も、配送業者の協力を得ながら共同配送やモーダルシフトを進めていくことを検討しています。

<sup>\*1</sup> PRTR法：「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律」  
有害性のある化学物質がどのような発生源からどのくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを、国、事業者団体などの機関が把握・集計・公表する仕組みを定めた法律です。

<sup>\*2</sup> モーダルシフト：道路交通公害に関する対策のひとつ。物流の合理化によって自動車の走行量を減少させ、騒音や排出ガス中の大気汚染物質、温室効果ガスを低減させようとする対策です。

### 菓子工場

#### 秦野工場

〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋228



敷地面積 67,127㎡

##### 主な生產品

カントリーマアム、ポップキャンディ

	項目	単位	2006年度	2007年度
イン プ ット	購入電力量	万kWh	1,108.1	1,113.1
	都市ガス購入量	㎥	1,514,100	1,591,161
	LPG購入量	㎥	26,311	17,610
	重油購入量	kL	使用しない	使用しない
	灯油購入量	kL	使用しない	使用しない
	総エネルギー投入量	GJ	181,348	178,205
	水資源投入量	㎥	588,629	519,403
ア ウ ト プ ット	CO <sub>2</sub> 排出量	t	7,379	7,192
	産業廃棄物排出量	t	1,097	968
	処理廃水排出量	㎥	122,522	111,252
	廃棄物リサイクル率	%	79.3	77.0

#### 平塚工場

〒254-0073

神奈川県平塚市西八幡1-4-1



敷地面積 17,995㎡

##### 主な生產品

ルックチョコレート、ピーナッツチョコレート、アーモンドチョコレート

	項目	単位	2006年度	2007年度
イン プ ット	購入電力量	万kWh	1,067.0	1,027.8
	都市ガス購入量	㎥	373,090	356,381
	LPG購入量	㎥	使用しない	使用しない
	重油購入量	kL	使用しない	使用しない
	灯油購入量	kL	1.7	使用しない
	総エネルギー投入量	GJ	123,228	117,118
	水資源投入量	㎥	68,656	66,850
ア ウ ト プ ット	CO <sub>2</sub> 排出量	t	5,071	4,225
	産業廃棄物排出量	t	1,161	1,195
	処理廃水排出量	㎥	59,005	55,632
	廃棄物リサイクル率	%	81.1	76.9

#### 富士裾野工場

〒410-1231

静岡県裾野市須山字平垣1220-19



敷地面積 72,662㎡

##### 主な生產品

ミルクィー、ホームパイ

	項目	単位	2006年度	2007年度
イン プ ット	購入電力量	万kWh	709.4	723.3
	都市ガス購入量	㎥	115,145	850,797
	LPG購入量	㎥	120,020	使用しない
	重油購入量	kL	392.7	使用しない
	灯油購入量	kL	使用しない	使用しない
	総エネルギー投入量	GJ	103,732	107,080
	水資源投入量	㎥	690,352	641,052
ア ウ ト プ ット	CO <sub>2</sub> 排出量	t	4,801	5,248
	産業廃棄物排出量	t	692	763
	処理廃水排出量	㎥	82,947	85,123
	廃棄物リサイクル率	%	85.1	86.8

### ● 洋菓子工場

#### 野木工場

〒329-0114  
栃木県下都賀郡野木町大字野木137-2



敷地面積 35,128㎡

##### 主な生産品

スコッチケーキ、チーズケーキ、  
ペコちゃんのほっぺ

	項目	単位	2006年度	2007年度
イン プ ット	購入電力量	万kWh	361.2	333.5
	都市ガス購入量	㎡	使用しない	使用しない
	LPG購入量	㎡	126,739	121,754
	重油購入量	kL	使用しない	使用しない
	灯油購入量	kL	使用しない	使用しない
	総エネルギー投入量	GJ	49,184	45,899
	水資源投入量	㎡	52,210	44,334
ア ウ ト プ ット	CO <sub>2</sub> 排出量	t	3,100	1,887
	産業廃棄物排出量	t	689	896
	処理廃水排出量	㎡	38,654	27,772
	廃棄物リサイクル率	%	85.6	92.0

#### 埼玉工場

〒352-0011  
埼玉県新座市野火止4-19-21



敷地面積 21,781㎡

##### 主な生産品

三角ショートケーキ、チョコ生ケーキ、  
レアチーズケーキ

	項目	単位	2006年度	2007年度
イン プ ット	購入電力量	万kWh	725.9	708.5
	都市ガス購入量	㎡	601,926	626,806
	LPG購入量	㎡	30,965	27,505
	重油購入量	kL	使用しない	使用しない
	灯油購入量	kL	使用しない	使用しない
	総エネルギー投入量	GJ	102,679	99,255
	水資源投入量	㎡	132,602	128,273
ア ウ ト プ ット	CO <sub>2</sub> 排出量	t	3,988	3,876
	産業廃棄物排出量	t	1,386	958
	処理廃水排出量	㎡	99,191	97,504
	廃棄物リサイクル率	%	78.1	89.9

#### 泉佐野工場

〒598-0061 大阪府泉佐野市住吉町3



敷地面積 25,139㎡

##### 主な生産品

プリン、モンブラン、シュークリーム、  
ペコちゃんのほっぺ

	項目	単位	2006年度	2007年度
イン プ ット	購入電力量	万kWh	441.3	448.3
	都市ガス購入量	㎡	347,875	410,156
	LPG購入量	㎡	1,013	766
	重油購入量	kL	使用しない	使用しない
	灯油購入量	kL	使用しない	使用しない
	総エネルギー投入量	GJ	59,754	61,630
	水資源投入量	㎡	67,527	69,462
ア ウ ト プ ット	CO <sub>2</sub> 排出量	t	2,355	2,373
	産業廃棄物排出量	t	482	372
	処理廃水排出量	㎡	67,185	69,462
	廃棄物リサイクル率	%	36.0	49.0



# 不二家のあゆみ

不二家は、1910年(明治43年)、横浜元町に「不二家洋菓子店」を創業して以来、時代に先駆けた数々の新しい事業にチャレンジしてきました。それは日本に洋菓子(お菓子)を中心とした新しい食文化、食シーンの提案をし続けた歴史でもあります。

これからも不二家は、企業の果たすべき社会的責任において、お菓子を中心とした本来の事業活動を通じて、「社会・環境との調和」を目指し、社会活動、環境問題への取り組みを積極的に進めていきます。

年	主な出来事
1910年	藤井林右衛門(25歳)が横浜市元町2丁目86番地に洋菓子店を開店
1918年	シュークリーム、エクレーアなどの販売を始める
1922年	フランス風ショートケーキの販売始める(1個8銭) クリスマス製品も販売する
1923年	銀座6丁目店開店
1934年	フランスキャラメル発売
1935年	チョコレート・キャンディの生産開始 ハートチョコレート発売
1938年	株式会社第二不二家を設立 資本金20万円 合名会社不二家を合併 資本金60万円 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
1950年	不二家のアイドル「ペコちゃん」誕生 年齢6歳
1951年	ミルクィ発売 「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生する 年齢7歳
1952年	ソフトクリーム国産第1号となり銀座6丁目店で売り出す クリスマスセール開始
1954年	パラソルチョコ発売・ポップキャンディ発売
1956年	バレンタインセール開始
1959年	平塚工場(神奈川県平塚市)完成
1960年	モンドセレクション当社第1回の商品出品で金賞をとる
1962年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場 ルックアラモード発売 札幌工場(北海道札幌市)完成
1963年	フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
1964年	ネクター発売
1965年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第一部に株式上場 オバQシリーズ発売
1968年	ホワイトデーセール開始 ノースキャロライナ発売 ホームパイ発売 埼玉工場(埼玉県新座市)・秦野工場(神奈川県秦野市)完成
1969年	野木工場(栃木県下都賀郡)完成
1971年	泉佐野工場(大阪府泉佐野市)完成
1972年	英国ロントリー マッキントッシュ社と技術援助契約を締結
1973年	キットカット発売 ビーアールジャパン株式会社(現B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社)を設立し、 アイスクリームチェーンに着手
1976年	米国ペプシコ社と合弁会社不二家フリトレ株式会社を設立、スナック食品部門に進出(現在は解消)
1978年	(株)不二家ロードサイドレストラン(現株式会社不二家フードサービス)を設立 ロードサイドレストラン1号店 川口青木店開店
1979年	米国ハーシーフーズと技術援助契約および輸入総代理店契約締結(現在は契約解消) ピーナツチョコ発売
1982年	仏国ソシエテ・ヌーベル・ダロワイヨ社と技術援助契約および輸入総代理店契約締結 自由が丘にダロワイヨ1号店を開店 フランチャイズチェーン導入の貢献により通商産業大臣賞受賞
1984年	カントリーマアム発売



# 不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
1989年	6	不二家とネスレ社との間で合弁会社ネスレマッキントッシュ株式会社を設立 (現ネスレコンフェクショナリー株式会社)
	10	株式会社ダロワイヨジャポン設立
1990年	6	富士裾野工場(静岡県裾野市)完成
	-	アンパンマン商品発売
1992年	-	ネクター食品ヒット大賞「ロングセラー賞」受賞(日本食糧新聞社主催)
1994年	6	「ペコちゃんのほっぺ」発売
	11	九州工場(佐賀県神埼郡)完成
1997年	4	不二家ホームページ開設
1998年	5	不二家キャラクター人形の「ペコちゃん」「ポコちゃん」が立体商標第一号として特許庁より認められる
2000年	2	「環境宣言」の制定
	2	ISO14001 認証取得の取り組み開始
	5	容器包装リサイクル法に対処
	9	ネスレマッキントッシュ株式会社の株式売却
	11	埼玉工場 全ボイラーを小型貫流ボイラーに転換
	12	富士裾野工場 廃棄物焼却炉廃止
2001年	3	カフェテリアプラン制度導入
	4	富士裾野工場 ISO14001 認証取得
	8	埼玉工場 全小型貫流ボイラーを都市ガス化
2002年	4	平塚工場 ISO14001 認証取得
	4	秦野工場 ISO14001 認証取得
	10	埼玉工場 廃棄物焼却炉廃止
	11	「不二家 行動規範と行動指針」の制定
	12	野木工場 廃棄物焼却炉廃止
2003年	3	平塚工場 全小型貫流ボイラーのガス化完了
	4	野木工場 ISO14001 認証取得
	4	不二家ファミリー文化研究所設立(以下ファミ文研という)
	4	ファミ文研 南こうせつの「グリーンパラダイス」コンサート協賛開始
	6	大阪、名古屋 各証券取引所への上場廃止
	7	コンプライアンス委員会設置・コンプライアンス推進規程制定
	7	環境報告書を初めて発行
	8	ファミ文研 ペコちゃんの森トラスト活動開始
	9	「環境宣言」の改訂
	10	埼玉工場 ISO14001 構築・運用開始
	11	ファミ文研 「水土里の体験展」協賛開始
2004年	2	不二家(杭州)食品有限公司を中国現地法人として設立
	2	埼玉工場 電力高圧トランスをアモルファスタイプへ更新
	6	秦野、平塚、富士裾野各工場を統合し湘南工場発足
	10	埼玉工場 ISO14001 認証取得
2005年	7	個人情報保護基本規程制定
	7	ISO9001 認証取得の取り組み開始
	12	秦野工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化



# 不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2006年	1	「品質方針」の制定
	3	泉佐野工場 廃棄物焼却炉廃止
	3	ファミ文研 「めざせ食育マイスター」イベント協賛開始
	4	定年退職者再雇用制度開始
	4	泉佐野工場 ISO14001:2004 構築・運用開始
	6	ISO9001 認証取得 (菓子事業本部〈営業部、マーケティングG、SCMG、事業管理G、研究開発G、湘南工場〉、品質保証部、調達部)
	8	秦野工場 汚水処理施設の汚泥減容化装置を稼働開始
	10	泉佐野工場 ISO14001:2004 認証取得
	10	湘南工場を菓子3工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場)に組織分離
	10	ファミ文研 ホームページ上で「食の歳時記」連載開始
2007年	1	「『外部から不二家を変える』改革委員会」発足
	1	「信頼回復対策会議」発足
	1	富士裾野工場 ボイラー・オープン設備を都市ガス化 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度に菓子業界として初の参加)
	2	AIB 食品安全システム導入
	2	山崎製パン株式会社と食品安全管理体制整備の支援に関する覚書を締結
	2	秦野工場・平塚工場・富士裾野工場 AIB 監査一定の評価を得る
	3	山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結
	3	埼玉工場・泉佐野工場 AIB 監査一定の評価を得る
	3	九州工場・野木工場 AIB 監査一定の評価を得る
	3	「品質方針」の改訂
	4	山崎製パン株式会社に対する第三者割当増資を実施
	4	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止
	5	「外部から不二家の発展を見守る会」発足
	5	ISO9001 認証一時保留
5	ISO9001 認証一時停止	
6	「環境宣言」の改訂	
6	CSR 推進部・食品安全衛生管理本部設置	
6	内部統制システム構築着手	
7	フード連合様を通じ菓子製品在庫の無償提供を実施	
7	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止	
7	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
8	コンプライアンス推進規程改訂	
9	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
9	ISO9001 認証一時停止解除	
11	ベーカリーカフェの新業態、「mamzucafe」開店(船橋)	
12	「企業理念」「行動規範」改訂	
2008年	1	ISO9001 認証登録維持・継続 (菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部) [広域営業部、営業支店、食品品質検査担当、食品品質管理担当(工場駐在)、品質管理担当(洋菓子工場駐在)は除く]
	1	「不二家食品安全の日」制定
	4	内部統制システム運用開始



## 編集後記

本年は、昨年までご報告しておりました環境報告書よりさらに報告範囲を  
拡大し、初めてCSR報告書として作成いたしました。

編集にあたっては、お客様、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様、  
当社が取り組んできた食の安全・安心に関わる内容を中心に  
わかりやすくお伝えできるよう、ご報告内容をまとめております。  
多くの皆様に当社の取り組みにご興味を持ってお読みいただき、  
またその内容についてご理解いただければ幸いです。

私たちは、CSR報告書を通じてステークホルダーの皆様に対する  
説明責任を果たすとともに、社会と信頼関係を構築し、  
より一層企業価値を高めていくために、  
今後も積極的にCSR活動に取り組んでまいります。





## ファミリーマークについて

ファミリーマークは、不二家を象徴するマークです。  
「FUJIYA」のイニシャルをかたどったこの「F」には、5つの意味が込められています。

- Familiar (ファミリア) : 親しみやすい
- Flower (フラワー) : 花
- Fantasy (ファンタジー) : 夢
- Fresh (フレッシュ) : 新鮮な
- Fancy (ファンシー) : 高級な、かわいらしい

## 表紙および中表紙の写真について

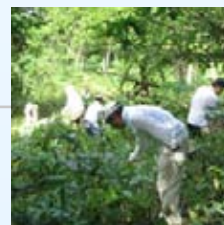
### 表紙



AIBフードセーフティ教育部門による監査の様子(埼玉工場)  
※詳しい内容はP14でご覧いただけます。



不二家ファミリー文化研究所が行った幼稚園訪問イベントの様子



従業員による、森林整備活動の様子  
※詳しい内容はP33でご覧いただけます。



不二家従業員の家族の写真

### 中表紙



菓子事業の3ブランド(カントリーマアム、ミルクィー、LOOK)と、物販事業の主力商品(三角ショートケーキ、モンブラン)



不二家製造工場におけるコンプライアンス勉強会の様子



生活協同組合コープこうへ様との共同企画で行った「親子自然体験教室」の様子  
※詳しい内容はP32でご覧いただけます。



不二家秦野工場で行った植樹の様子



**株式会社 不二家**

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6  
ホームページ <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 CSR推進部  
Eメールの場合：不二家ホームページ内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。



© FUJIYA CO., LTD.

本報告書記載記事の  
無断転載・複製を禁じます。